

**LB** ファイルサーバを簡単&自動バックアップ  
**ファイルバックアップ4 Server**

## 利用ガイド



Microsoft は Microsoft Corporation の登録商標、Windows は同社の商標です。  
その他の商標は、それぞれ該当する会社が所有する商標です。

**注意:**

本冊子に記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。株式会社ライフボートは、本ガイドあるいはプログラムに記載されている内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

**EDITION**

February 2016

Copyright© 2016 by Lifeboat, inc.

All rights reserved.

Printed in Japan

**PUBLISHED BY**

株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

ホームページ: <http://www.lifeboat.jp/>

# 目次

第1章	はじめに.....	4
1-1	LB ファイルバックアップ 4 Server の特長.....	4
1-2	動作環境.....	4
1-3	注意事項.....	4
第2章	インストールと初期設定.....	5
2-1	LB ファイルバックアップ 4 Server のインストール.....	5
2-2	初回設定ウィザードを実行する.....	9
第3章	コンテキストメニューとホーム画面について.....	15
3-1	タスクトレイアイコンとコンテキストメニューについて.....	15
3-2	ホーム画面について.....	16
第4章	バックアップ設定の変更、追加、削除.....	17
4-1	バックアップ設定の変更.....	17
4-2	バックアップ設定の追加.....	24
4-3	バックアップ設定の削除.....	26
第5章	バックアップデータのリストアと削除.....	27
5-1	バックアップデータのリストア.....	27
5-2	バックアップデータの削除.....	30
5-3	リストア用のファイルを使用してリストアする.....	31
第6章	補足事項.....	32
6-1	オプション画面について.....	32
6-2	ステータス&ログ画面について.....	36
6-3	サポート画面について.....	37
6-4	インストール後にライセンス認証を行う場合.....	38
6-5	アンインストール手順.....	39

## 第1章 はじめに

### 1-1 LB ファイルバックアップ 4 Server の特長

このたびは「LB ファイルバックアップ 4 Server」をお買い上げいただきありがとうございます。LB ファイルバックアップ 4 Server は、簡単な操作でファイルサーバ内のデータを、NAS や外付け HDD などにバックアップできるソフトで、世代管理、バックアップデータの圧縮・暗号化、除外ファイルの設定などの機能を備えています。同じファイルを複数のバックアップ先に保存することもできるため、重要なデータを 2 重化してバックアップすることも可能です。動作も軽く、サーバへの負荷もほとんどかかりません。また、バックアップの際、バックアップ先にリストア実行用のファイルが作成されるため、LB ファイルバックアップ 4 Server がインストールされていない、他の PC からでもバックアップデータをリストアできます。

### 1-2 動作環境

以下の最低システム要件を満たすコンピュータをご用意ください。

対応 OS:	Windows Server 2008/2008 R2、Windows Server 2012/2012 R2、 Windows Storage Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2 ※32ビット/64ビット、日本語版のみサポート ※管理者権限が必要です。
対応機種:	上記 OS が正常に動作する PC/AT 互換機
CPU:	Intel、AMD または互換プロセッサ (サーバ用プロセッサを推奨)
メモリ:	2GB 以上の RAM
ディスク容量:	200MB 以上の空き容量 (バックアップデータ、ログを保存するための領域が別途必要)
その他:	.NET Framework がインストールされていること

### 1-3 注意事項

- 本製品はファイルのバックアップツールです。OSやアプリケーションのバックアップには非対応です。
- クライアントPC用の「LB ファイル バックアップ 4 Pro」とは別製品です。
- CD/DVD/BDなどの光学メディア、およびテープ媒体へのバックアップには非対応です。
- 他社バックアップツールとの併用はできません。
- 製品の性質上、暗号パスワードを紛失した場合のサポートはいたしかねますので、パスワードを設定した場合、管理には充分にご注意ください。
- ライセンスキーを入力せずに本製品をインストールした場合、30日間限定の評価版になります。本製品を無期限でご利用いただくためには、アクティベーションが必要です。
- アクティベーションは通常インターネット経由で行います。インターネットに接続されていない場合は、弊社サポートセンターにご連絡ください。
- 旧バージョン『LB ファイル バックアップ 3 Server』をご利用の場合、LB ファイルバックアップ 4 Server をインストールして頂く前に、必ず LB ファイル バックアップ 3 Server はアンインストールしてください。また、最新バージョンをインストール後には、再度バックアップの設定、実行が必要となりますので、ご注意ください。

## 第2章 インストールと初期設定

この章では、LB ファイルバックアップ 4 Server のインストールと、初期設定の手順をご案内いたします。

### 2-1 LB ファイルバックアップ 4 Server のインストール

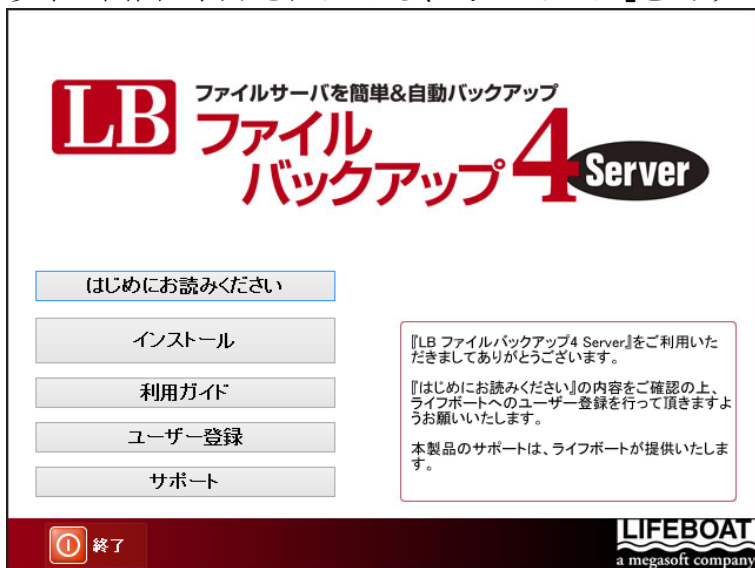
LB ファイル バックアップ3 Serverをご利用のお客様へ

LB ファイルバックアップ4 Serverをインストールして頂く前に、必ずLB ファイル バックアップ3 Serverはアンインストールしてください。また、最新バージョンをインストール後には、再度バックアップの設定、実行が必要となりますので、ご注意ください。

- (1) 製品 CD をコンピュータに挿入すると自動再生が起動してインストール画面が表示されます。自動再生しない場合は、CD 内にある「スタート.EXE」を実行してください。



- (2) 以下の画面が表示されましたら、「インストール」をクリックしてください。

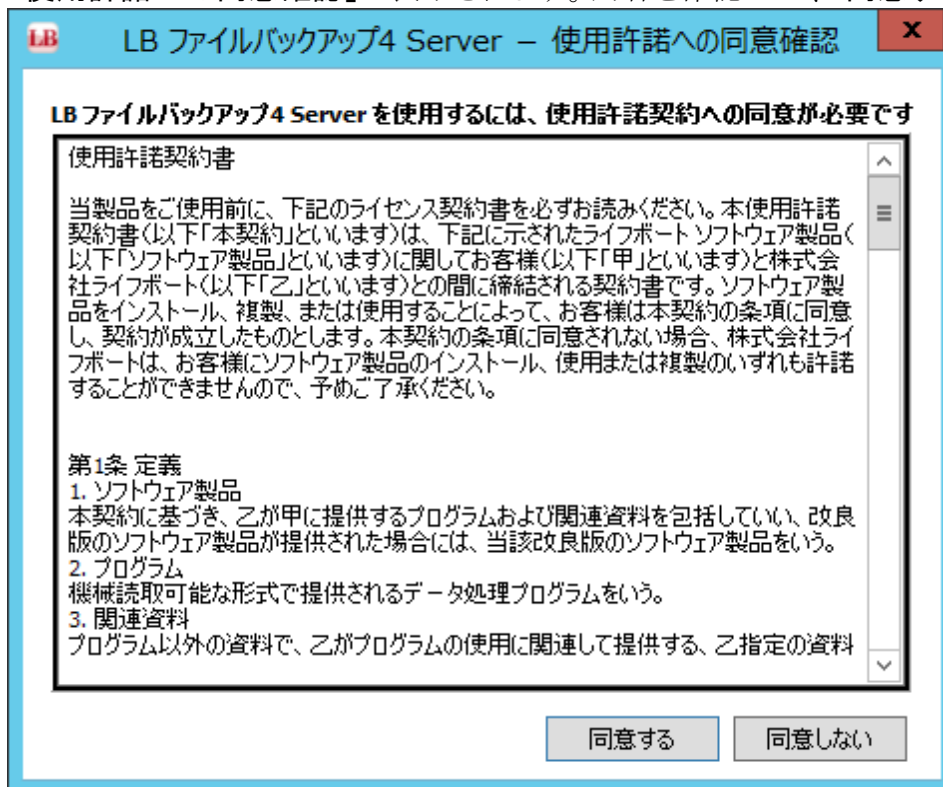


- (3) インストーラが起動しましたら、「インストール」をクリックします。

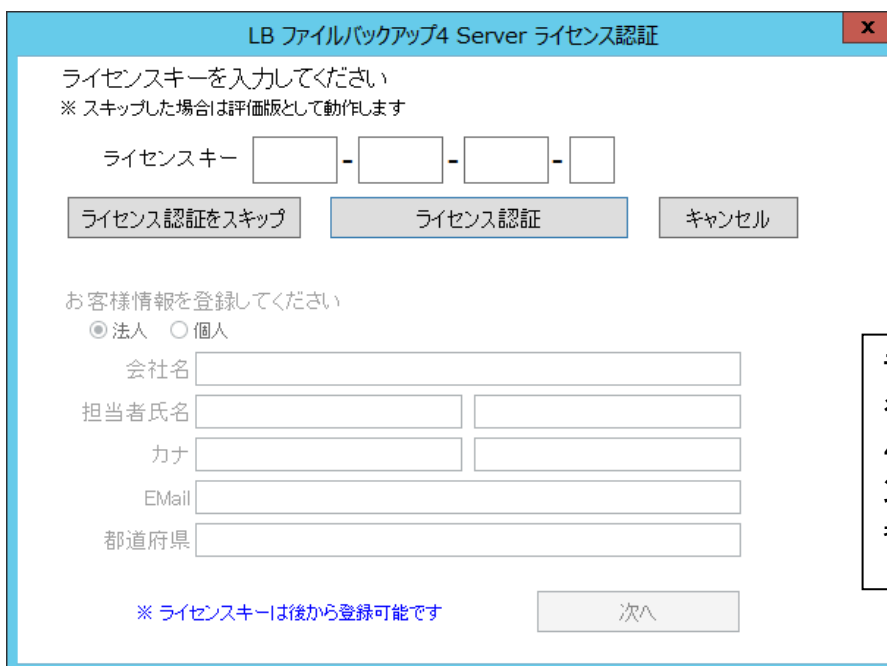


※ .NET Framework2.0以上がインストールされていない場合、LB ファイルバックアップ4 Serverのインストール時に.NET Frameworkがインストールされます。

- (4) 「使用許諾への同意確認」が表示されます。内容を確認の上、「同意する」をクリックします。

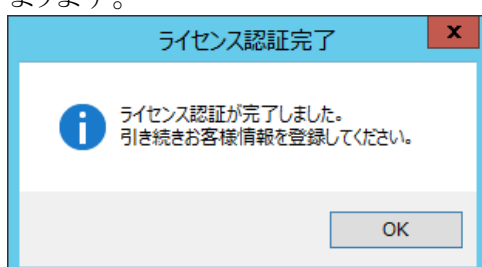


- (5) ライセンス認証を行います。ライセンスキーを入力し、「ライセンス認証」をクリックします。評価版として使用する場合は、「ライセンス認証をスキップ」をクリックしてください。

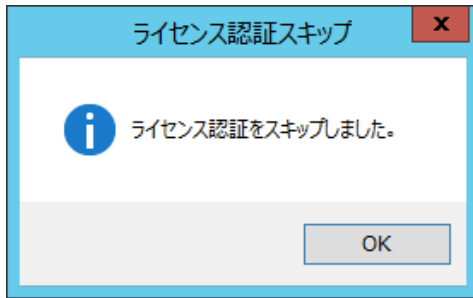


ライセンス認証は後から行うことも可能です。『6-4 インストール後にライセンス認証を行う場合』をご参照ください。

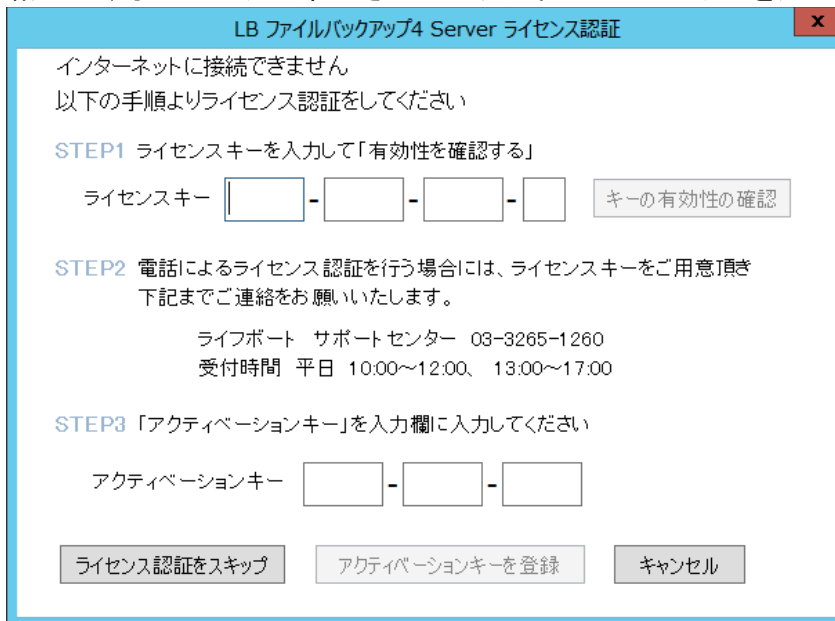
ライセンス認証に成功すると、以下の画面が表示されます。「OK」をクリックするとインストールが始まります。



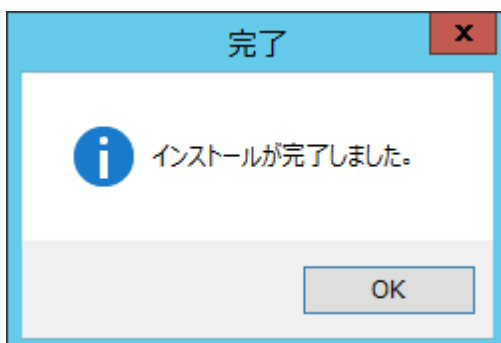
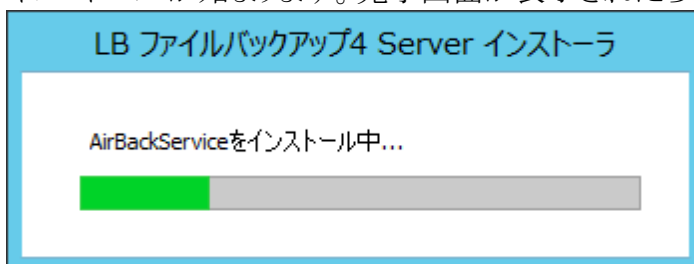
- ※ ライセンス認証をスキップした場合、30 日間の評価版としての使用になります。評価版から製品版へ移行される場合、サポート画面からライセンス認証を行う必要があります。詳細は、『6-4 インストール後にライセンス認証を行う場合』を参照してください。  
「OK」をクリックし(6)へお進みください。



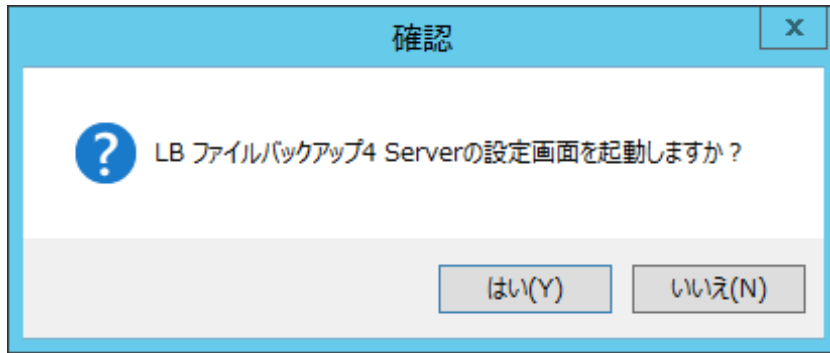
- ※ インターネットに接続されていない場合は、以下の画面が表示されます。サポートセンターにご連絡の上、オペレータに案内されたアクティベーションキーを入力してください。



- (6) インストールが始まります。完了画面が表示されたら「OK」をクリックします。



- (7) 設定画面を起動するかどうかの、確認メッセージが表示されます。続けて初期設定を行う場合は「はい」を、このまま終了する場合は「いいえ」をクリックします。終了した場合、デスクトップ上の「LB ファイルバックアップ 4 Server」のアイコンをクリックすると、初期設定の画面が表示されます。

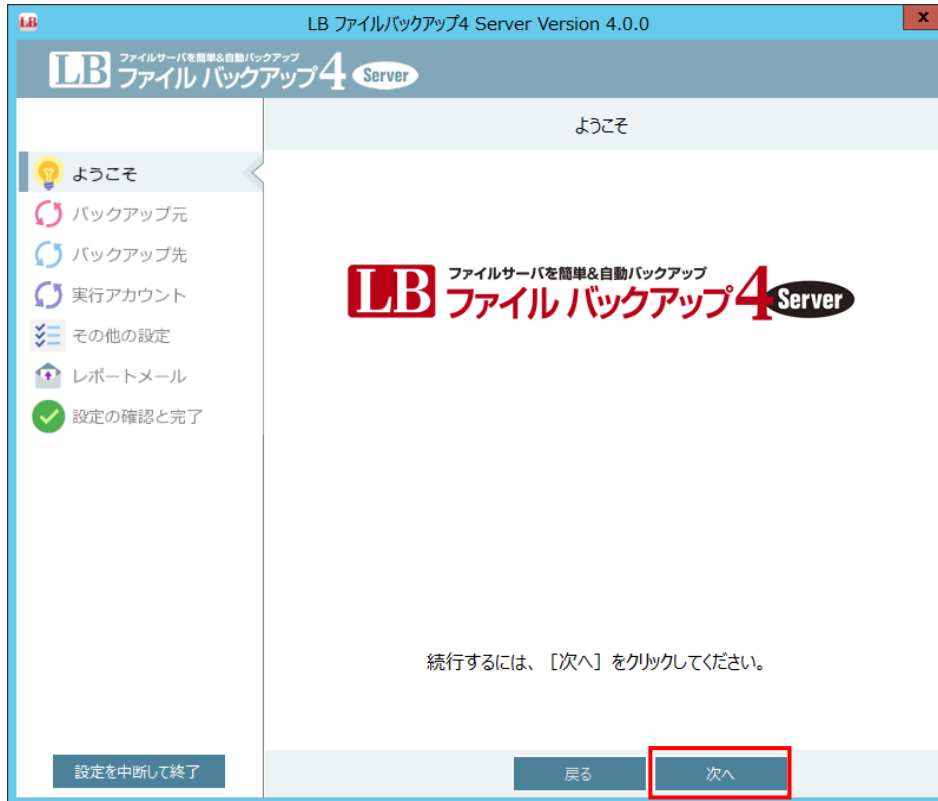


以上でインストールは完了です。初期設定の手順については、『2-2 初回設定ウィザードを実行する』を参照してください。

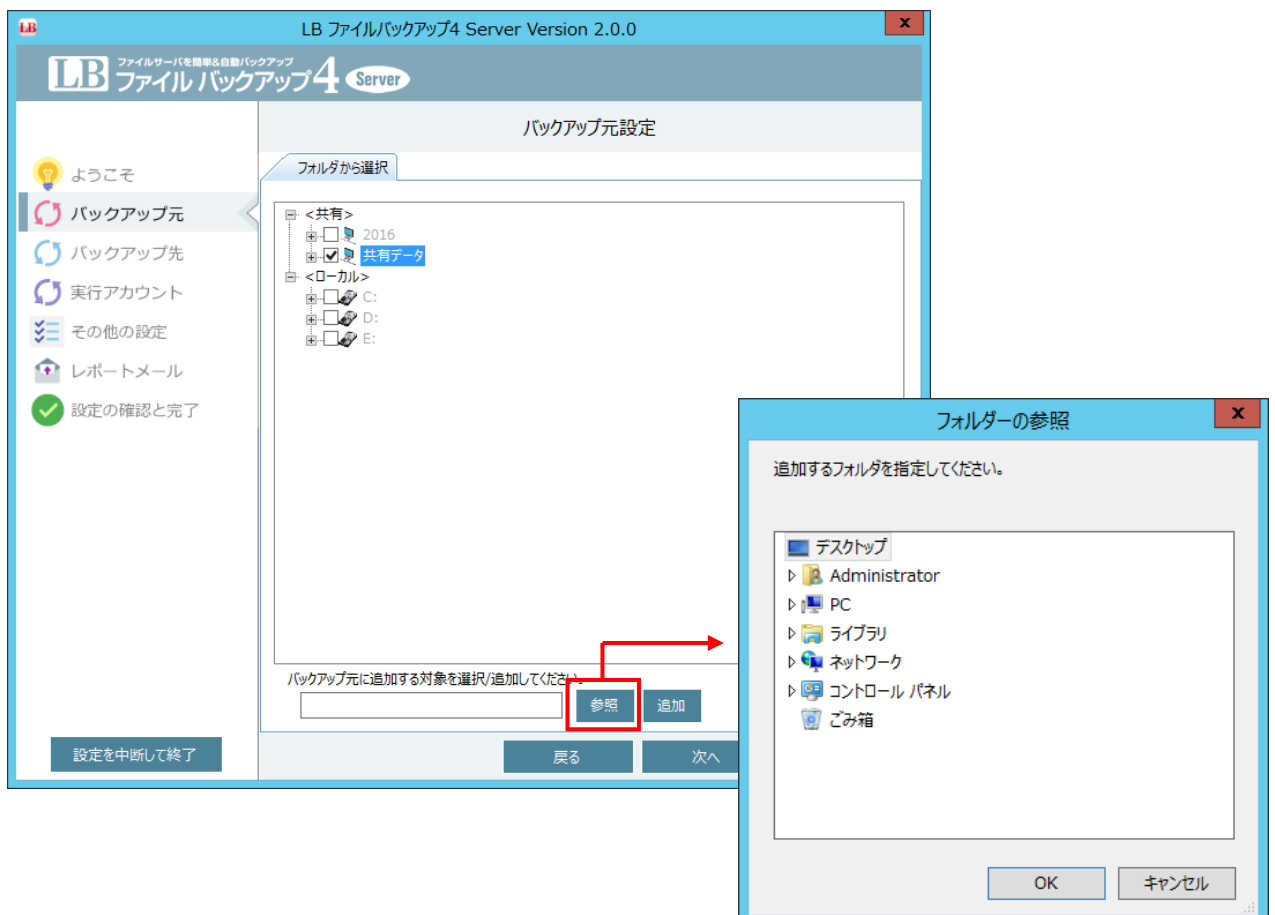


## 2-2 初回設定ウィザードを実行する

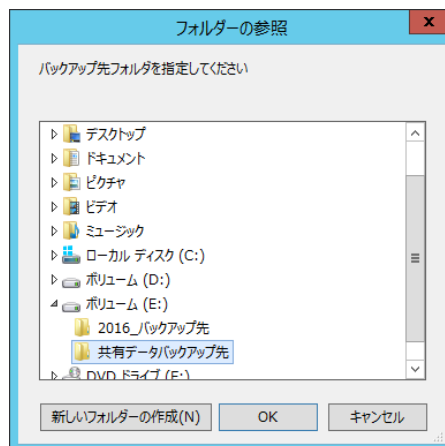
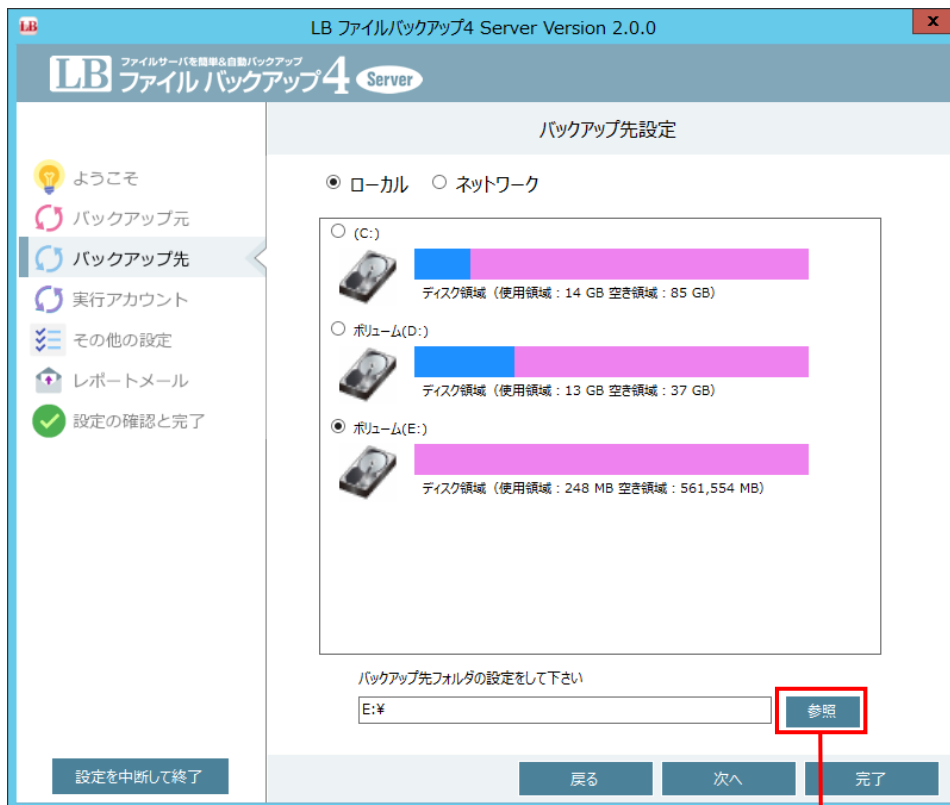
- (1) インストール完了後、初めてLB ファイルバックアップ 4 Server を起動すると、初回設定ウィザードの画面が表示されます。「次へ」をクリックします。



- (2) バックアップしたいデータを選択します。自動検出された共有フォルダ以外に、バックアップしたいフォルダがある場合は、「参照」をクリックし保存したいフォルダを選択します。



- (3) バックアップ先を選択します。特定のフォルダにバックアップしたい場合は、「参照」をクリックして保存先を選択してください。



- ※ バックアップ先として使用できるのは、内蔵 HDD、外付け HDD、ネットワークドライブ、USB メモリなどのリムーバブルメディアです。CD/DVD/BD などの光学メディア、テープ媒体へのバックアップには非対応です。
- ※ 「保存先パスの文字数」 + 「ファイル名の文字数」が、OS の制限を超えた場合（一般的には 256 文字）は、バックアップできなくなります。保存先パスの文字数が短くなるよう、ドライブの直下やドライブ直下にあるフォルダをバックアップ先に指定することをお勧めします。
- ※ バックアップ先を後で変更することはできません。バックアップ先を変更するには、新しく設定を追加する必要があります。手順は『4-2 バックアップ設定の追加』を参照してください。

- (4) バックアップ先がネットワークドライブの場合は、バックアップ先へアクセスするためのドメイン(必要な場合)、アカウント、パスワードを入力し、「ログインテスト」をクリックしてください。バックアップ先がローカルドライブの場合は、「ローカルシステムアカウント」のまま「次へ」をクリックしてください。



(5) 「その他の設定」は必要に応じ、行ってください。

バックアップデータの圧縮/暗号化の設定は、後から変更することができません。設定作成時にのみ選択できます。変更すると、既存のバックアップデータが削除されます。

暗号化する場合は、パスワードを設定してください。

バックアップデータの世代保存の設定を行ってください。

バックアップ元データが削除された際の動作を設定します。  
バックアップモード・・・バックアップ元データが削除された際、バックアップ先からは削除しません。  
レプリケーションモード・・・バックアップ元データが削除された際、バックアップ先からも削除します。

詳しくは『4-1 バックアップ設定の変更』(8)を参照してください。

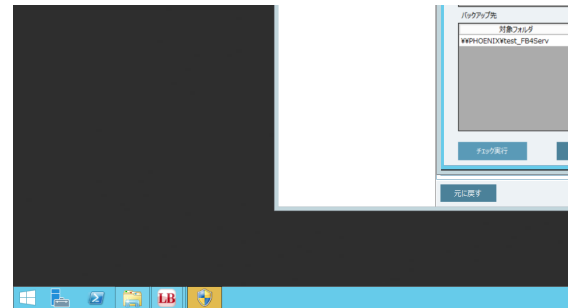
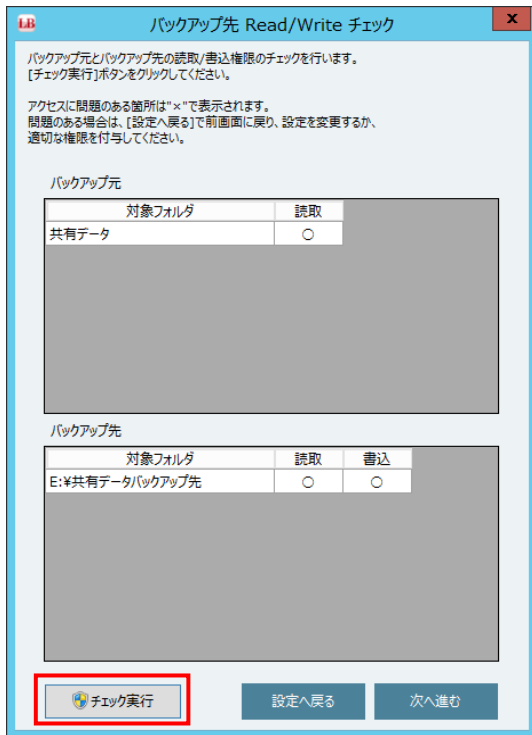
※ 暗号パスワードを忘れると復元ができません。製品の性質上、パスワードを紛失した場合の対処方法についてのサポートは提供しておりませんで、パスワードは慎重に管理していただくようお願い致します。

- (6) レポート送信機能を使用する場合は、メール送信に必要な情報を入力し、「テスト送信」を行ってください。機能を使用しない場合は入力せずに「次へ」をクリックします。

- ※ メール通知設定の詳細については、『6-1 オプション画面について』の(3)を、レポートで送信されるログの記録レベルについては、『6-1 オプション画面について』の(1)を参照してください。

- (7) 設定内容の確認画面が表示されます。内容に問題がなければ、「保存」をクリックします。

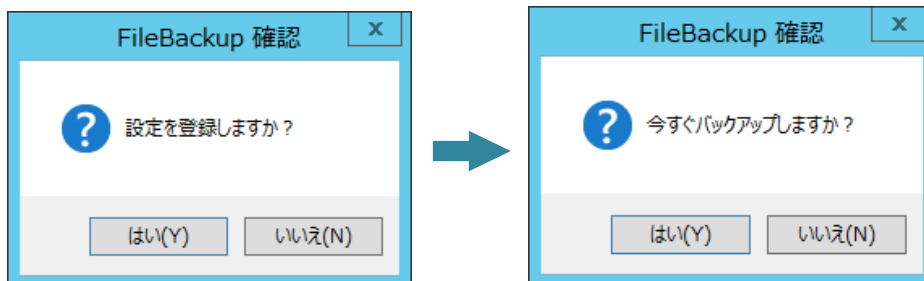
- (8) バックアップ先とバックアップ元の読取・書込権限のチェック画面が表示されます。「チェック実行」をクリックし、「ユーザーアカウント制御」許可してください。



ユーザーアカウント制御がタスクバーに表示される場合は、クリックして実行してください。

権限に問題がなければ○が表示されますので、「次へ進む」をクリックします。

- (9) 設定を登録するかどうか、確認のメッセージが表示されたら「はい」をクリックします。その後、「今すぐバックアップしますか？」のメッセージが表示されますので、すぐにバックアップする場合は「はい」を、あとでバックアップする場合は「いいえ」をクリックします。




以上で初回設定ウィザードは完了です。




- ※ この時点ではバックアップ方式が「リアルタイム」で設定されています。「今すぐバックアップしますか？」のメッセージで「いいえ」をクリックした場合でも、ウィザードを完了して 5 分経過すると初回バックアップが実行されます。
- ※ 初回バックアップの実行日時を指定したい場合など、設定内容を変更したい場合は『4-1 バックアップ設定の変更』を参照してください。

### 第3章 コンテキストメニューとホーム画面について






ここでは、コンテキストメニューとメニュー画面について説明いたします。

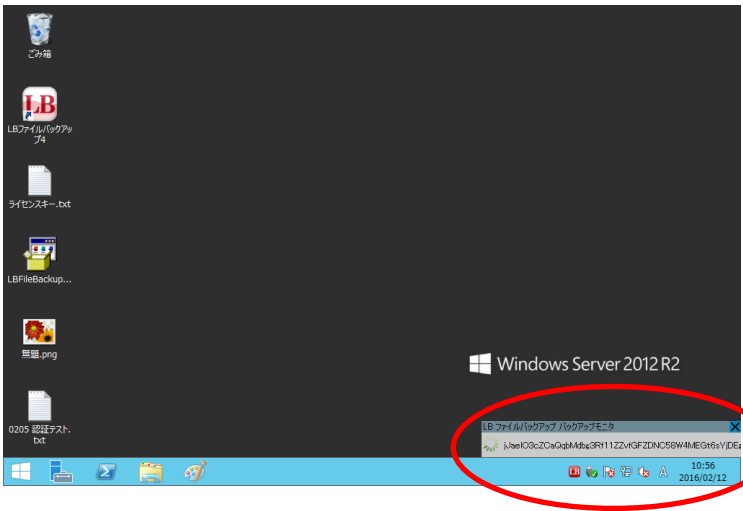
#### 3-1 タスクトレイアイコンとコンテキストメニューについて

初回バックアップウィザード完了後、タスクトレイ上に LB ファイルバックアップ 4 Server のアイコン  が表示されます。このアイコンは、LB ファイルバックアップ 4 Server の動作によって表示が変わります。

	待機中/リストア中の表示です。
	バックアップ中はこのアイコンが表示されます。
	バックアップ先がすべて、接続不可の場合に表示されます。

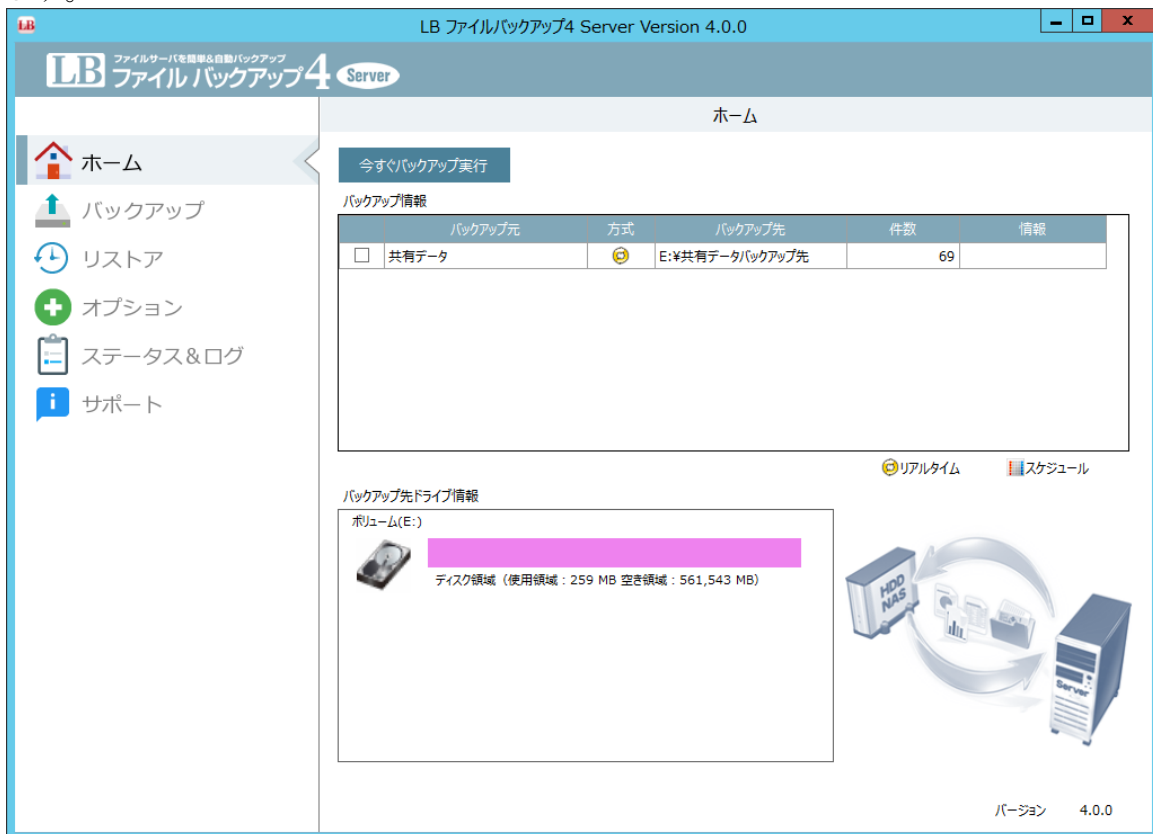
また、タスクトレイのアイコン上で右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

	メインメニューを開く(O)
	今すぐバックアップ(B)
	ログ画面を開く(L)
	モニター表示(M)
	LB ファイルバックアップ の終了(X)

メインメニューを開く	LB ファイルバックアップ 4 Server のホーム画面を起動します。
今すぐバックアップ	クリックすると、すぐにバックアップを実行します。
ログ画面を開く	バックアップやリストア、操作のログを表示します。
モニター表示	タスクトレイに現在バックアップ中のファイル名が表示されます。 
LB ファイルバックアップの終了	LB ファイルバックアップ 4 Server を終了します。

### 3-2 ホーム画面について

デスクトップ上の LB ファイルバックアップ 4 Server のアイコンをクリック、またはコンテキストメニューで「メインメニューを開く」をクリックすると、LB ファイルバックアップ 4 Server のホーム画面が起動します。



ホーム	LB ファイルバックアップ 4 Server のホーム画面を表示します。
バックアップ	バックアップ設定の追加や削除など、バックアップに関わる設定全般が行えます。
リストア	バックアップデータのリストアや削除などが行えます。
オプション	バックアップから除外するファイルや、バックアップ速度の変更などが行えます。
ステータス&ログ	バックアップやリストアなどのログを確認できます。
サポート	製品のアクティベーションやユーザ登録、サポートセンターへの問合せなどが行えます。



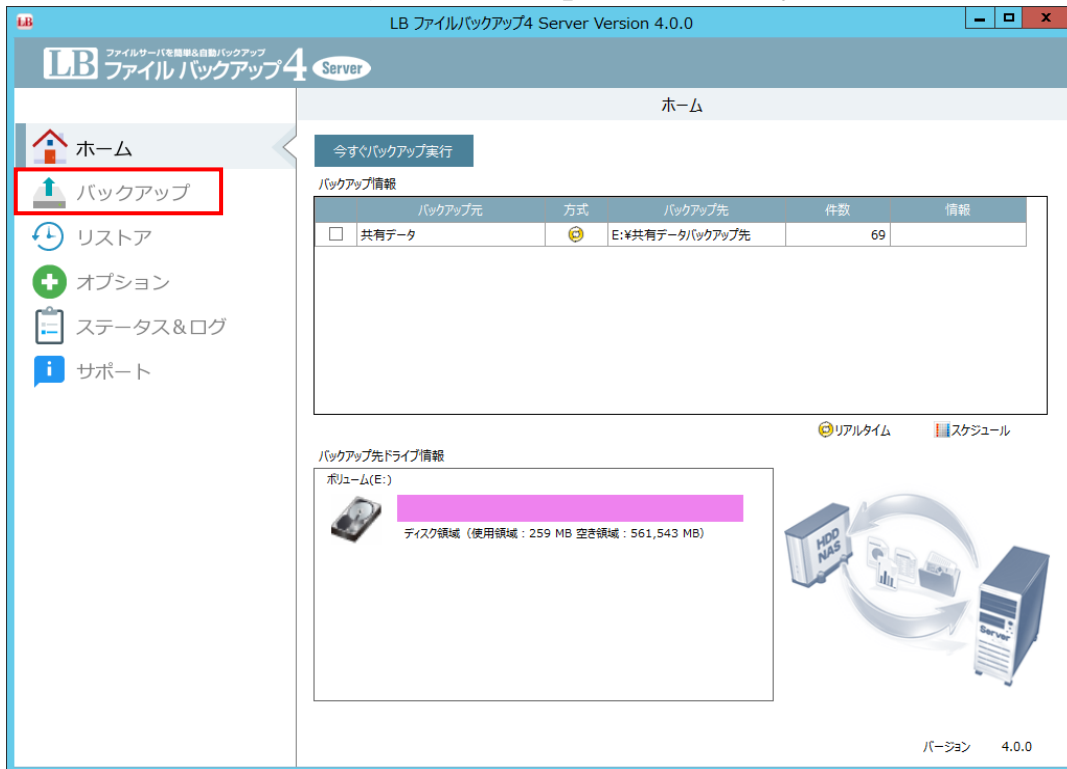
## 第4章 バックアップ設定の変更、追加、削除

この章では、初回設定ウィザード完了後、バックアップ設定を追加する手順や、バックアップ設定の内容を変更する手順をご案内いたします。

### 4-1 バックアップ設定の変更

バックアップ設定の内容を変更する手順は以下の通りです。ただし、バックアップ先を変更することはできません。変更したい場合は『4-2 バックアップ設定の追加』を参照の上、新しくバックアップ先を追加し、設定しなおしてください。

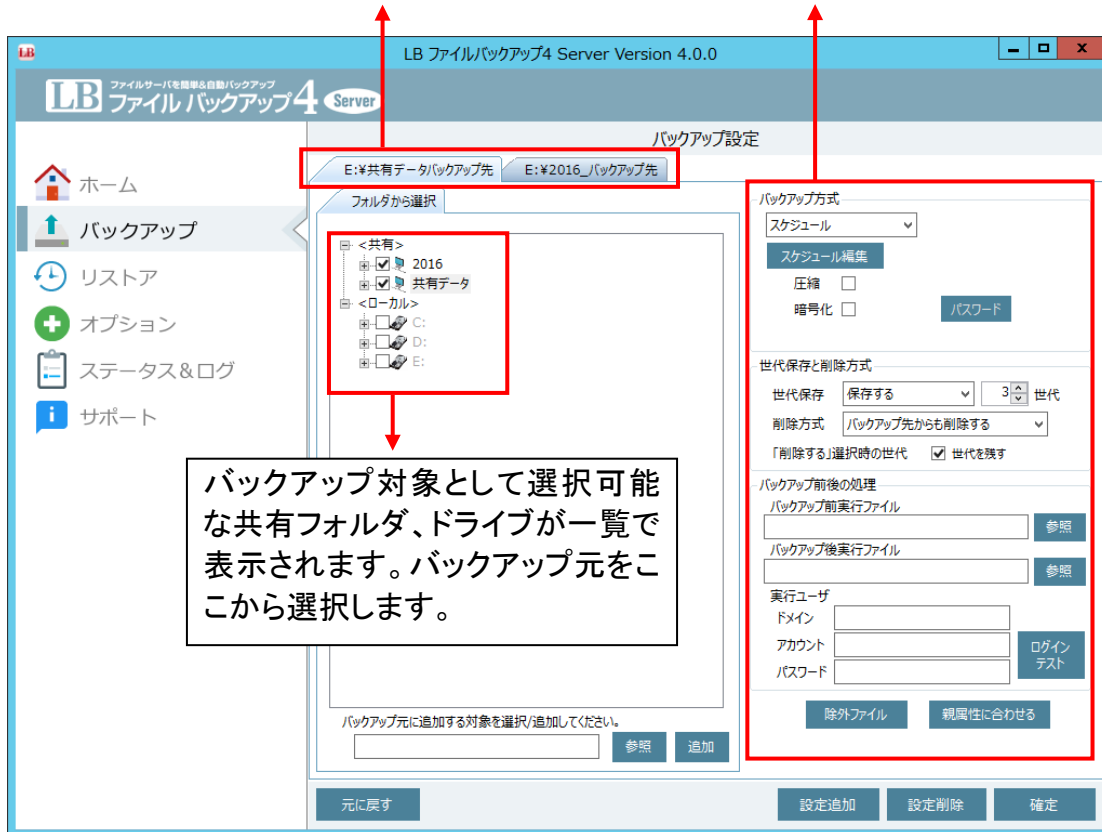
- (1) デスクトップ上の LB ファイルバックアップ 4 Server のアイコンをクリックします。
- (2) ホーム画面が表示されたら、「バックアップ」をクリックします。



(3) バックアップ設定画面が起動します。

作成済みのバックアップ設定がタブで表示されます。

バックアップ元を選択後、バックアップの設定内容をここで指定します。

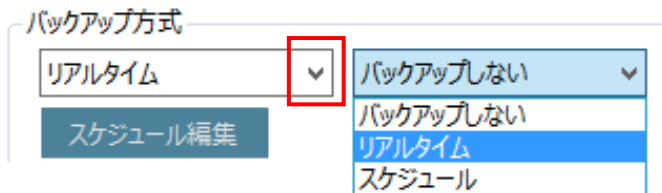


バックアップ対象として選択可能な共有フォルダ、ドライブが一覧で表示されます。バックアップ元をここから選択します。

(4) 設定を変更したいタブ・フォルダを選択します。既存のバックアップ先に新しくバックアップ対象を追加する場合は、そのフォルダを選択します。



(5) 続けて画面の右側で「バックアップ方式」を選択します。



### 「リアルタイム」

リアルタイムにファイルの変化を検知してバックアップを行います。設定後、5分経過すると初回バックアップが実行されます。

### 「スケジュール」

曜日と時間を指定してバックアップを行います。「スケジュール編集」ボタンをクリックすると、スケジュール設定画面が表示されるので、ここでバックアップする曜日と時間を指定します。



※ スケジュール方式では、初回バックアップはスケジュール設定した時間に行われます。すぐにバックアップを実行したい場合は、設定完了後にタスクトレイ上の LB ファイルバックアップ 4 Server のアイコンを右クリックし、「今すぐバックアップ」を実行してください。

(6) バックアップデータを圧縮・暗号化したい場合はチェックを入れてください。

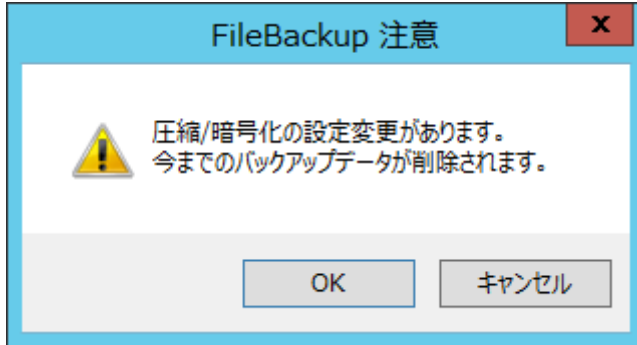
圧縮

暗号化

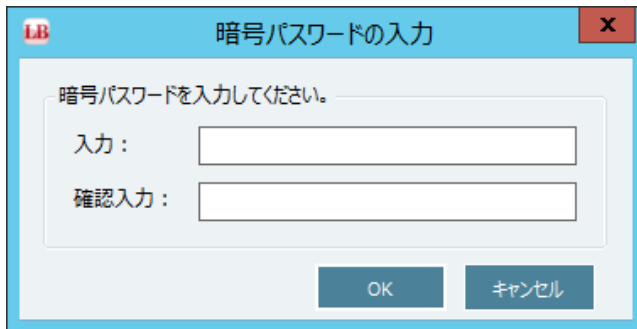
パスワード

※ 圧縮・暗号化の設定を変更した場合は、設定完了時に以下のメッセージが表示され、これまでに保存されているバックアップデータは削除されますのでご注意ください。

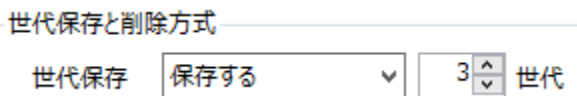
これまでのバックアップデータを削除したくない場合は、『4-2』をご参考に、別のバックアップ先ドライブを用意し、バックアップ設定を新規に作成してください。



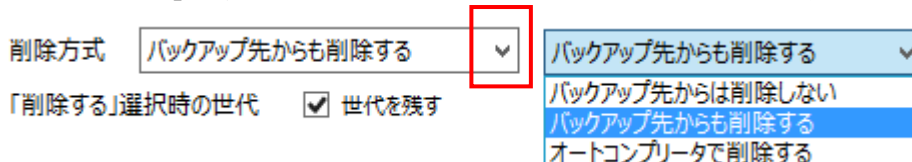
※ 暗号化にチェックを入れた場合は、「パスワード」をクリックし、パスワードを設定してください。パスワードを忘れると、復元ができなくなりますので、パスワードの管理には充分にご注意ください。



(7) 世代を保存する/しない、の選択と、保存する場合は、何世代保存するかを指定できます。



(8) 「削除方式」は、バックアップ元のデータを削除した際の動作を設定します。



【バックアップ方式が「リアルタイムバックアップ」の場合】

バックアップ先からも削除する	バックアップ元のデータを削除した直後に、バックアップ先のデータも削除します
オートコンプリータで削除する	オートコンプリータが実行されるタイミングで削除します。

※ オートコンプリータとは、サーバの再起動時など、定期的(24 時間に一度)にバックアップ漏れがないか、チェックを行う機能です。リアルタイムバックアップ方式で、「オートコンプリータで削除する」を選んだ場合、このチェックが行われたタイミングで削除を実行します。

【バックアップ方式がスケジュールの場合】

バックアップ先からも削除する	スケジュールバックアップの場合、どちらを選択しても、次のバックアップ実行時に、該当のデータが削除されます。
オートコンプリータで削除する	

※ 「世代を残す」にチェックを入れた場合、バックアップ元のデータを削除した際に、バックアップ先の最新世代のみが削除され、世代データは削除されずに残ります。

(9) 必要に応じてバックアップ前後に実行するファイルを指定できます。この設定は、スケジュールバックアップ方式を選択した場合にのみ設定できます。

バックアップ前後の処理

バックアップ前実行ファイル

バックアップ後実行ファイル

実行ユーザ

ドメイン

アカウント

パスワード

参照

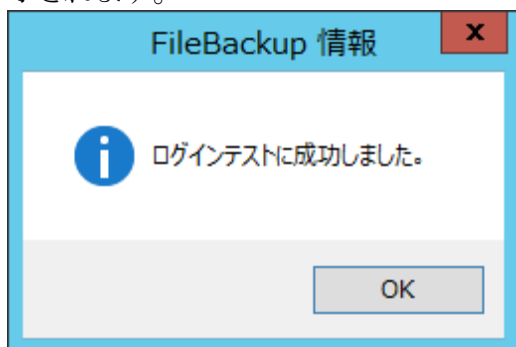
参照

ログイン  
テスト

ここをクリックしてファイルを指定します。指定できるのは、拡張子が exe, cmd, bat のいずれかのファイルです

指定したファイルに実行権限が必要な場合に入力します。

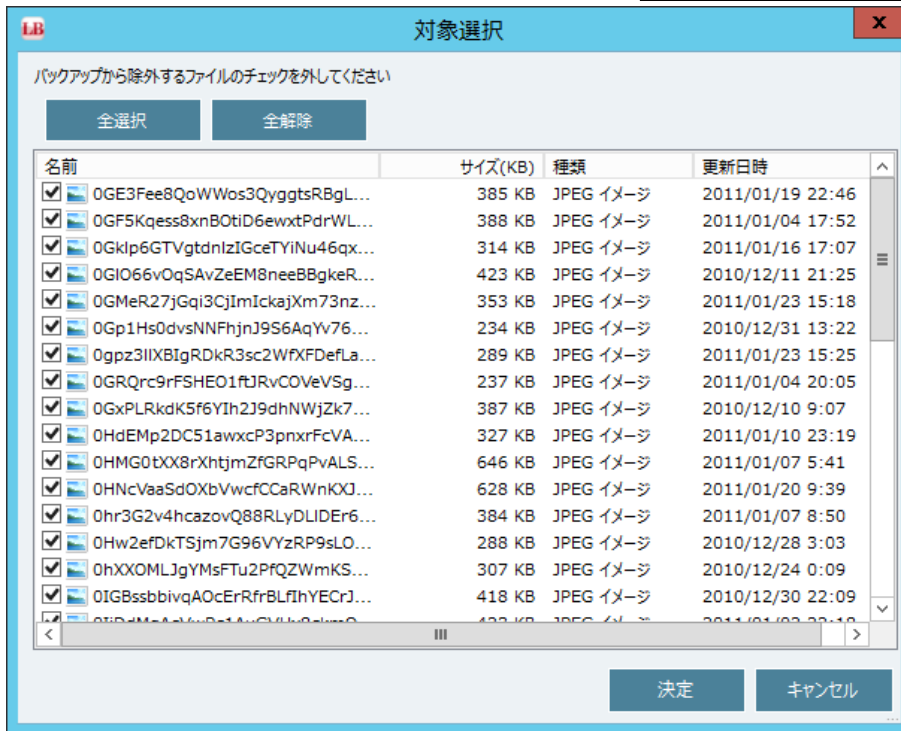
実行ユーザの情報入力後に「ログインテスト」をクリックしてください。成功すると以下の画面が表示されます。



- (10) バックアップ対象に除外したいファイルが含まれている場合、「除外ファイル」をクリックし、除外したいファイルのチェックを外します。



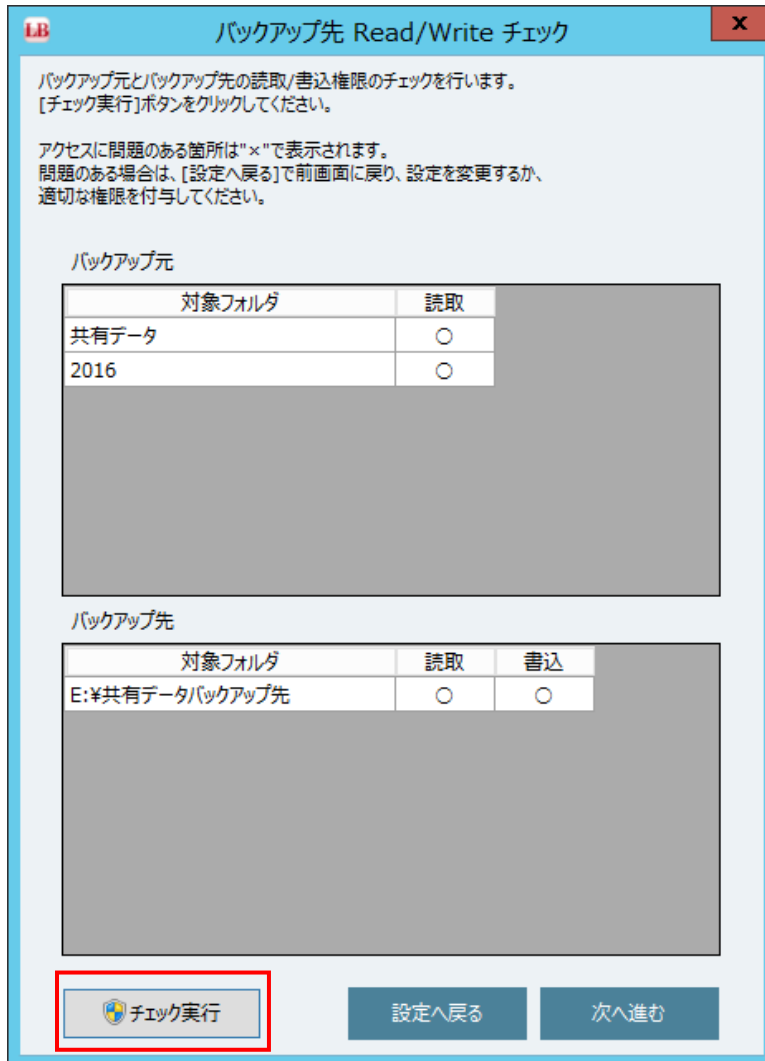
バックアップ方式、圧縮方式、暗号化、世代保存などの設定を、親フォルダと同じにしたい場合にクリックします。



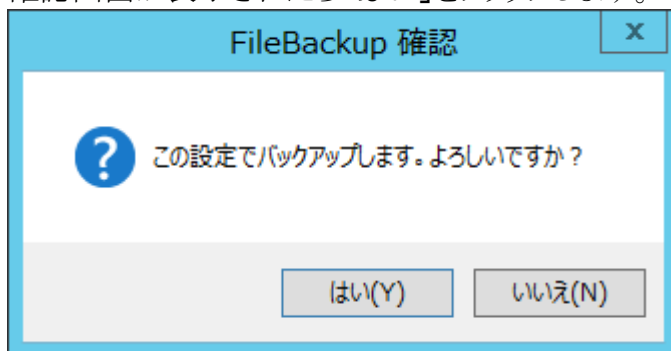
- (11) 設定が完了したら「確定」をクリックします。



- (12) バックアップ先とバックアップ元の読取・書込権限のチェック画面が表示されます。「チェック実行」をクリックし、読取・書込権限のチェックを行います。  
権限に問題がなければ、○が表示されますので、「次へ進む」をクリックします。



確認画面が表示されたら「はい」をクリックします。



以上で設定は完了です。

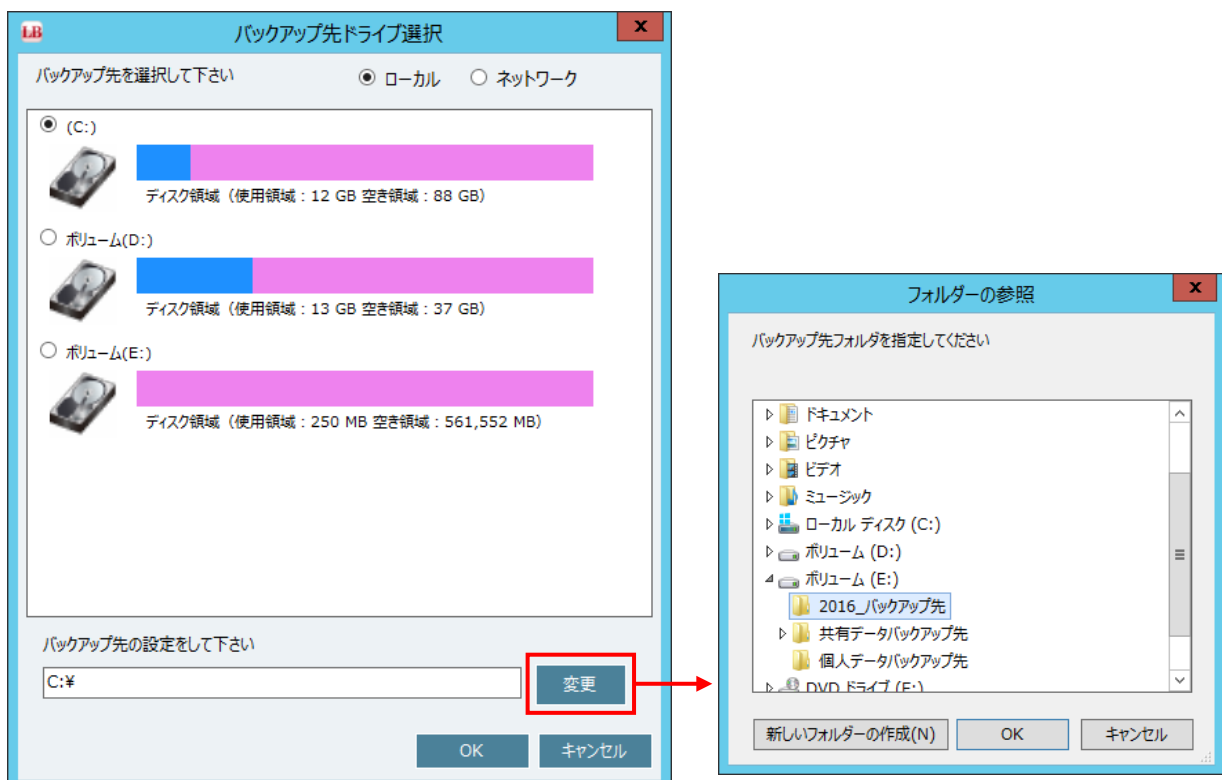
## 4-2 バックアップ設定の追加

バックアップ設定を新しく追加する手順をご案内いたします。新しくバックアップ先を追加したい場合に使用します。既存のバックアップ先に、バックアップ対象のフォルダを追加したい場合は、『4-1 バックアップ設定の変更』を参照の上、バックアップ対象を追加してください。

- (1) ホーム画面から、「バックアップ」を開きます。
- (2) バックアップの設定画面が表示されます。「設定追加」をクリックします。



- (3) バックアップ先のドライブを選択します。特定のフォルダに保存したい場合は、「変更」をクリックし、バックアップ先を選択します。選択後、「OK」をクリックします。





(4) バックアップ設定画面にタブが追加されます。

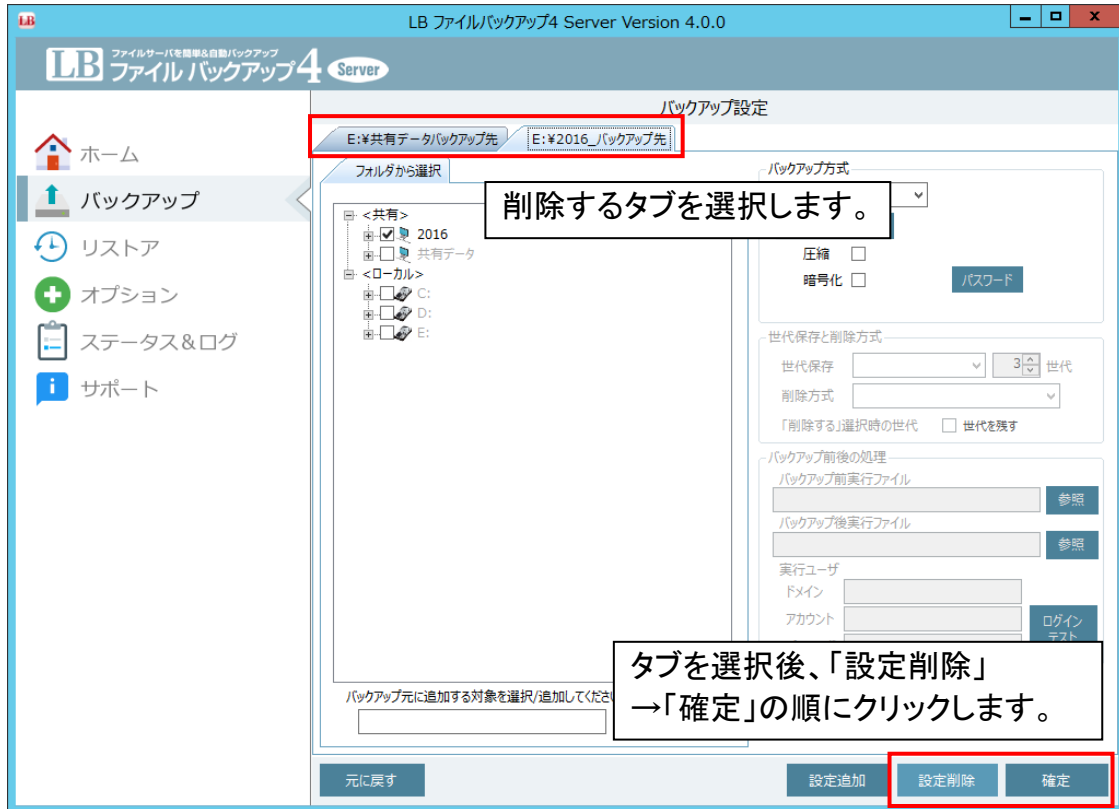


この後の操作は、作成済みのバックアップ設定を変更する手順と同じです。『4-1 バックアップ設定の変更』の(4)～(12)を参照の上、設定を行ってください。

### 4-3 バックアップ設定の削除

不要になったバックアップ設定を削除したい場合、以下の手順で実行できます

- (1) ホーム画面からバックアップ設定画面を表示します。
- (2) 現在のバックアップ設定がタブで表示されます。削除したいタブを選択し、「設定削除」→「確定」をクリックします。



- (3) バックアップ先とバックアップ元の読取・書込権限のチェック画面が表示されます。権限のチェックを行い、設定を反映させます。手順は『4-1 バックアップ設定の追加』の(12)を参照してください。以上で設定は完了です。

※ バックアップ設定を削除しても、既存のバックアップデータは削除されません。バックアップデータの削除については、『5-2 バックアップデータの削除』を参照してください。

## 第5章 バックアップデータのリストアと削除

### 5-1 バックアップデータのリストア

ここでは、LB ファイルバックアップ 4 Server でバックアップしたデータのリストア手順をご案内いたします。

※ バックアップデータの暗号化・圧縮を行っていない場合、エクスプローラ等で直接バックアップデータを参照できますが、ツールを使用してリストアすることをお勧めします。

- (1) ホーム画面で「リストア」をクリックします。
- (2) リストア画面が表示されます。バックアップ先、世代を選択します。

世代の選択

複数のバックアップ先を登録している場合は、ドロップダウンリストから選択できます。

世代を選択して下さい

最新

下記バックアップ先からリストアを行います。

E:\共有データ\バックアップ先

E:\共有データ\バックアップ先

E:\2016\_バックアップ先

			更新日時
<input type="checkbox"/>	オフライン	ファイル フォルダー	2016/02/05 17:05
<input type="checkbox"/>	サポートデータ5	ファイル フォルダー	2016/02/05 17:05
<input type="checkbox"/>	サポートデータ6	ファイル フォルダー	2016/02/05 17:05
<input type="checkbox"/>	サポートデータ7	ファイル フォルダー	2016/02/05 17:05
<input type="checkbox"/>	サポートデータ8	ファイル フォルダー	2016/02/05 17:05
<input type="checkbox"/>	BK_CP.xlsx	170 KB Microsoft Excel ...	2016/01/27 14:50
<input type="checkbox"/>	SP1 差分.docx	440 KB Microsoft Word ...	2016/01/27 14:19
<input type="checkbox"/>	カレンダー.xlsx	12 KB Microsoft Excel ...	2016/02/02 16:35
<input type="checkbox"/>	サポート受付01.xls	41 KB Microsoft Excel ...	2015/06/03 11:13
<input type="checkbox"/>	サポート受付02.xls	30 KB Microsoft Excel ...	2009/06/04 16:47
<input type="checkbox"/>	サポート受付03.xls	28 KB Microsoft Excel ...	2016/01/27 15:17
<input type="checkbox"/>	テンプレート.xlsx	241 KB Microsoft Excel ...	2016/01/19 10:07
<input type="checkbox"/>	マルチラベルシート.doc	30 KB Microsoft Word ...	2011/04/08 13:48
<input type="checkbox"/>	製品A.xlsx	20 KB Microsoft Excel ...	2016/02/02 16:35
<input type="checkbox"/>	製品B.xlsx	20 KB Microsoft Excel ...	2016/02/02 16:35
<input type="checkbox"/>	製品C.xlsx	20 KB Microsoft Excel ...	2016/02/02 16:35
<input type="checkbox"/>	返品処理表20150612 ...	48 KB Microsoft Word ...	2011/08/18 9:03
<input type="checkbox"/>	返品処理表20150722 ...	48 KB Microsoft Word ...	2016/02/02 16:37
<input type="checkbox"/>	送付状 20151201.doc	40 KB Microsoft Word ...	2016/01/27 14:48
<input type="checkbox"/>	送付状 20151202.doc		
<input type="checkbox"/>	送付状 20151203.doc		
<input type="checkbox"/>	連絡事項.txt		

検索

リストア - 検索リストア

下の条件のいくつかまたはすべてで検索してください。

検索開始パス  
E:\共有データ\バックアップ先\RI\*\\$AFS\$SP\*\*\共有データ

ファイル名、フォルダ名のすべてまたは一部（複数の場合は：区切り）

ここに検索キーワードを入力してください

更新日時の期間指定  /  /  ~  /  /

検索開始

検索中止

ファイル名	場所	サイズ	更新日時	世代
-------	----	-----	------	----

検索ボタンをクリックすると、バックアップデータの名前から検索してリストアできます。

一時フォルダに戻す

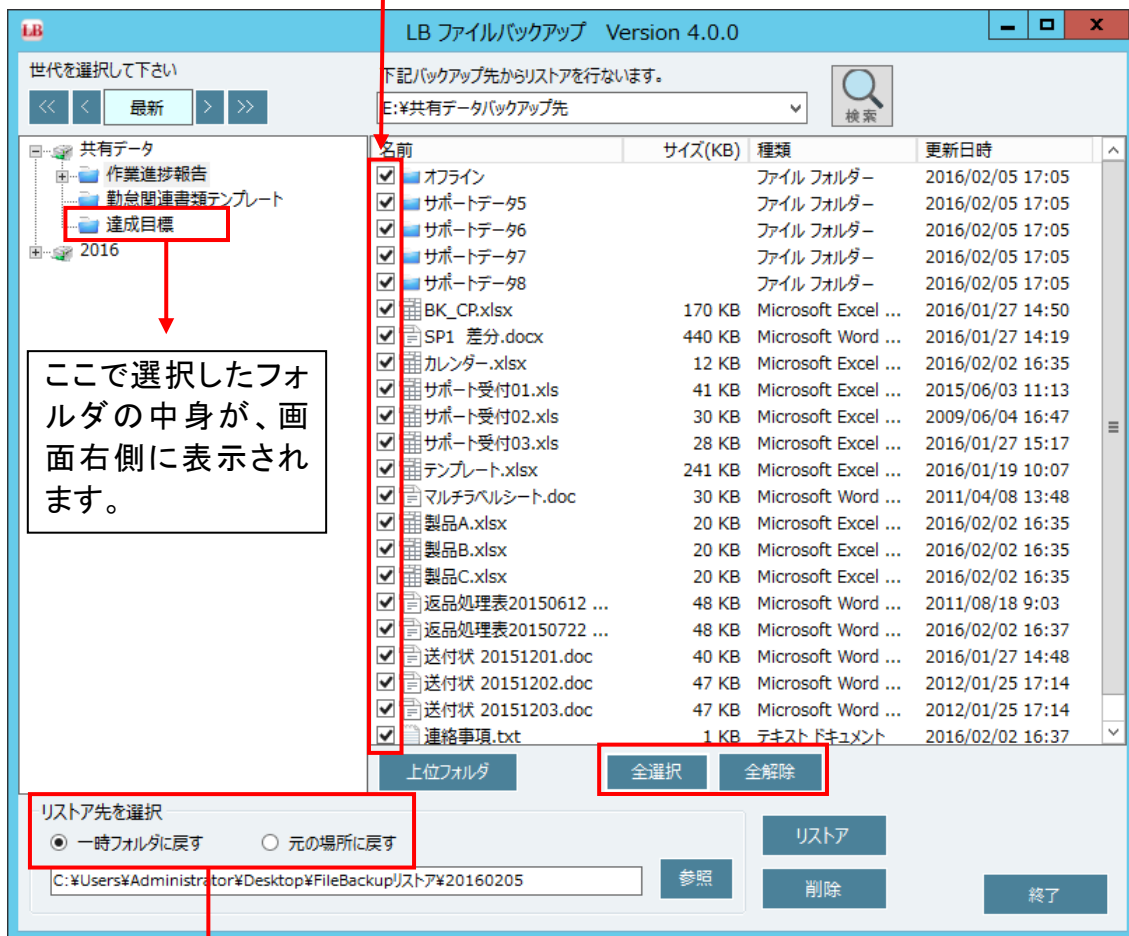
C:\Users\Administrator\Desktop\FileBackup\リストア\20160205

参照

リストア 削除 閉じる

- (3) リストアするデータにチェックを入れます。特定のフォルダ内のデータをリストアしたい場合は、左側のフォルダ一覧で該当のフォルダを選択してから、リストアするデータにチェックを入れます。

リストアするデータにチェックを入れます。一括でチェックを入れる場合は「全選択」を、外す場合は「全解除」をクリックします。

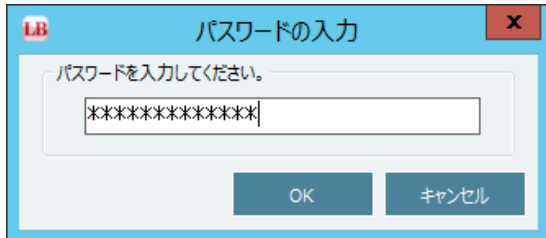


ここで選択したフォルダの中身が、画面右側に表示されます。

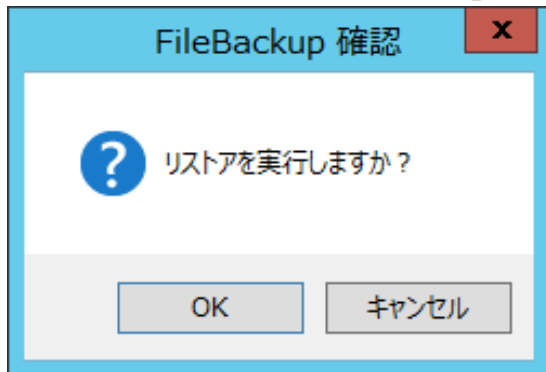
元の場所に戻すか、一時フォルダに戻すかを選択します。一時フォルダに戻す場合は、「参照」をクリックするとリストア先を選択できます。

- ※ リストア先に同じ名前のファイルが存在すると上書きされます。元の場所にリストアするのではなく、いったん一時フォルダにリストアすることをお勧めします。

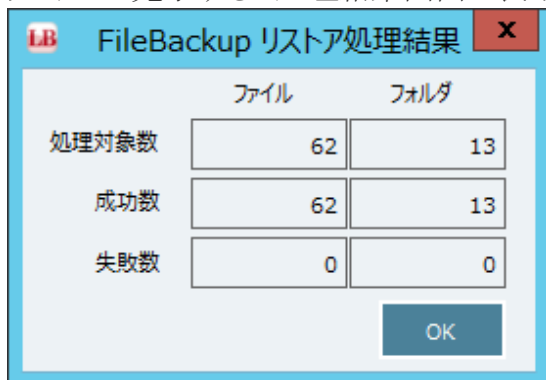
- (4) リストアするデータを選択後、「リストア」をクリックします。バックアップデータを暗号化していた場合は、パスワード入力画面が表示されるので入力し、「OK」をクリックします。暗号化していない場合は(5)へ進みます。



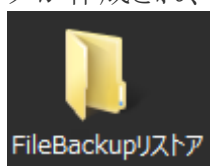
- (5) 確認メッセージが表示されたら「OK」をクリックし、リストアを開始します。



リストアが完了すると処理結果画面が表示されるので、「OK」をクリックします。



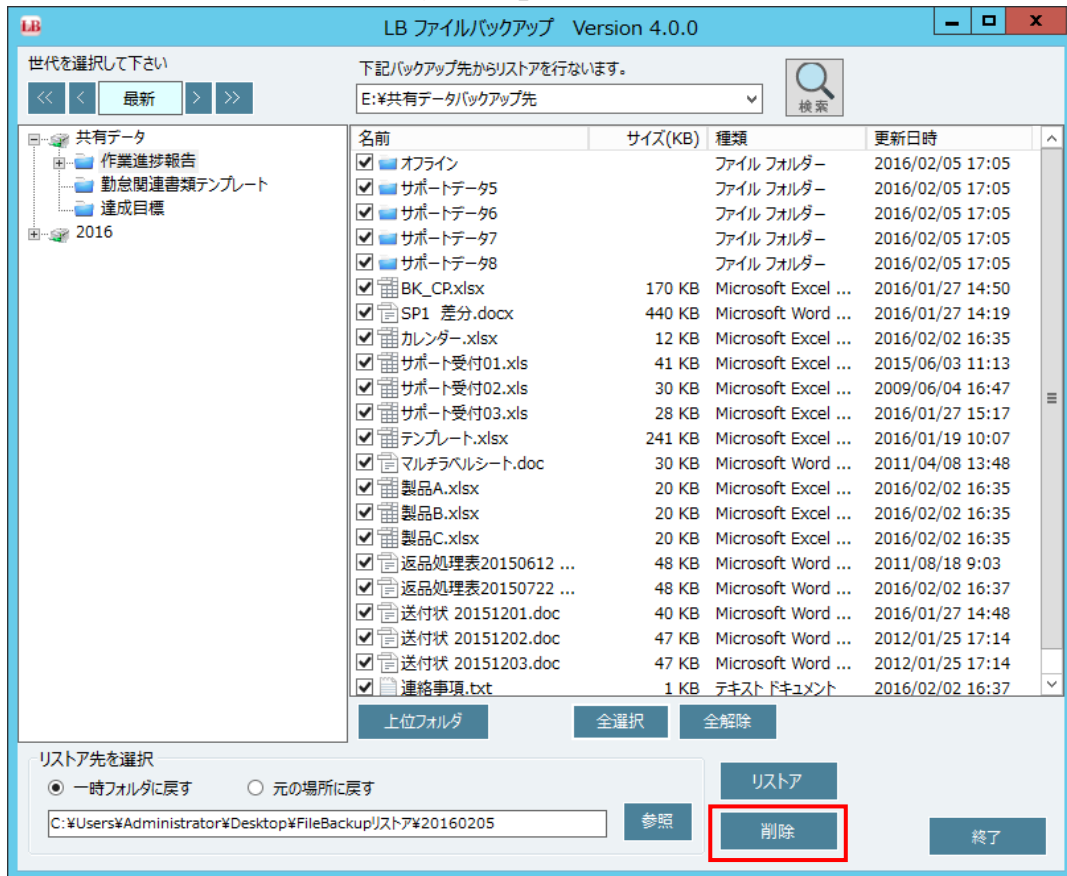
「一時フォルダに戻す」を選択してリストアした場合、リストア先に「FileBackupリストア」というフォルダが作成され、その中にバックアップデータがリストアされます。



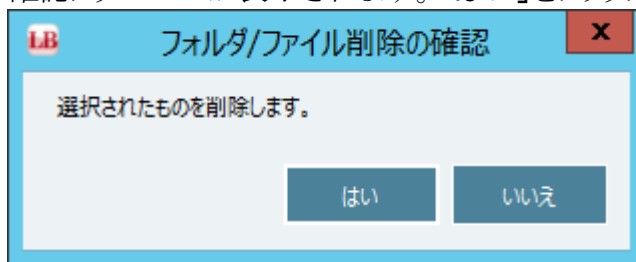
以上で操作は完了です。

## 5-2 バックアップデータの削除

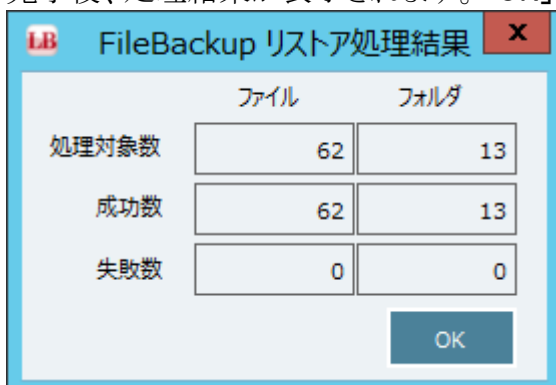
- (1) 『5-1 バックアップデータのリストア』の(1)～(3)を実行します。
- (4) 削除したいデータを選択したら、「削除」をクリックします



- (5) 確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、削除が実行されます。



完了後、処理結果が表示されます。「OK」をクリックします。



### 5-3 リストア用のファイルを使用してリストアする

LB ファイルバックアップ 4 Server では、バックアップの際、バックアップ先にリストア用のファイル、「AirBackRestore.exe」が作成されるため、本製品がインストールされていない環境でもリストアができます。例えば、Dドライブをバックアップ先にしていた場合は、「D:¥RI¥\$AFS¥AirBackRestore」にリストア用のファイルが作成されます。外付けHDDにバックアップしている場合は、異なる機器に外付けHDDを接続し、AirBackRestore.exeを実行するとリストア画面が起動します。このファイルを使用したリストア手順は下記の通りです。

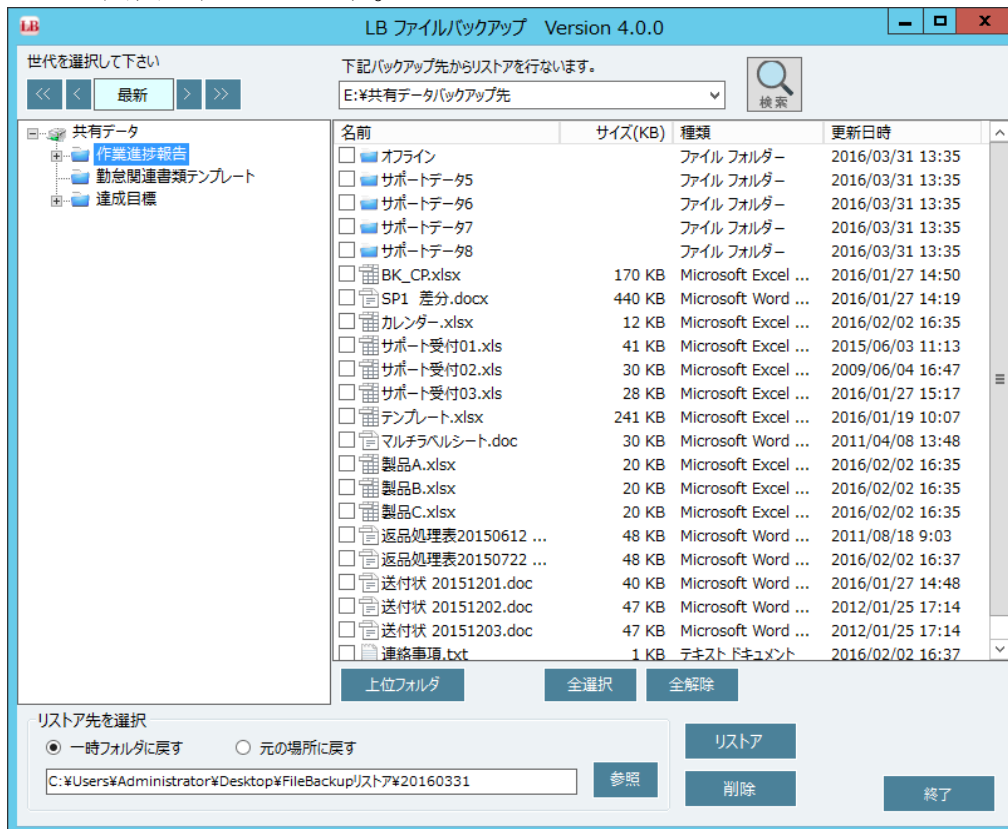
※ LB ファイルバックアップ 4 Server がインストールされている環境では、「AirBackRestore.exe」は使用せず、製品のリストア機能を使用してください。

※ 環境によっては、リストア前に.NET Framework のインストールが必要になることがあります。

(1) バックアップ先のドライブにある、AirBackRestore.exe を実行します。



(2) リストア画面が表示されます。



この後のリストア手順は製品のリストア機能と同じです。手順の詳細は『5-1 バックアップデータのリストア』を参照してください。

バックアップ先がネットワークドライブの場合、ネットワーク経由で「AirBackRestore.exe」を実行してリストアできなければ、バックアップ先にある LB フォルダを丸ごとローカルにコピーしてリストアを実行してください。



## 第6章 補足事項

### 6-1 オプション画面について

オプション画面では、ログの保存に関する設定やバックアップ速度の変更など、バックアップの動作に関わる設定などを変更できます。

#### (1) 共通設定



#### 隠し属性ファイルの除外

「隠し属性ファイルを除外する」にチェックを入れると、隠しファイルがバックアップ対象から除外されます。

#### ファイル名、拡張子による除外

特定のファイル名または拡張子をリストに入力すると、バックアップ対象から除外されます。  
(例: テキストファイルを除外する場合は、\*.txtと入力し「適用」をクリックします)

#### 世代ファイルの保存方式の設定

バックアップデータを複数世代保存する設定にした場合、更新したファイルを1日1回だけバックアップするか、またはファイルを更新するたびにバックアップするかを設定できます。

<p>「1日に更新する世代を1世代目のみに制限する」</p>	<p>1日に何度かバックアップ元のファイルを更新しても、バックアップデータが更新されるのは、最新のデータと1世代目だけになります。例えば、バックアップ先に3世代分のデータがあった場合、1日に何度かバックアップ元のデータを更新しても、バックアップ先は最新のデータと1世代目しか更新されず、2世代目以降のデータは更新されません。この設定を有効にするには、保存する世代数を2以上に設定する必要があります。</p>
<p>無制限に世代を更新する</p>	<p>ファイルを更新するたびに、毎回バックアップを実行します。</p>



## ログファイルの保存設定

バックアップやリストアの成否に関するログ・操作ログの保存に関する設定です。

記録 Lv4	すべての情報を最も詳細に記録しますが、動作が重くなることがあります。
Lv3	成功/失敗/スキップを記録しますが、動作が重くなることがあります。
Lv2	バックアップの成功/失敗を記録します。
Lv1	バックアップの失敗のみを記録します。
Lv0	何もログを記録しません。

**ログの保存先:**「参照」ボタンをクリックすることで、ログファイルの保存先を変更できます。

**ログの保存期間:**1～180 日の間で、ログファイルの保存期間を設定できます。

### バックアップ速度

バックアップの実行速度を、高速/中速/低速のいずれかから選択できます。

### オートコンプリータ

オートコンプリータとは、バックアップの取りこぼしが無いかをチェックするための機能です。その設定を、高速/中速/低速/なし のいずれかから選択できます。なしを選択すると、この機能は無効になります。実行する場合は、曜日、時間を指定することも可能です。

### 定期世代削除

全バックアップデータの世代を定期的に削除する機能です。毎日または固定曜日のスケジュール時刻に削除を開始します。(最新世代のみ残ります)

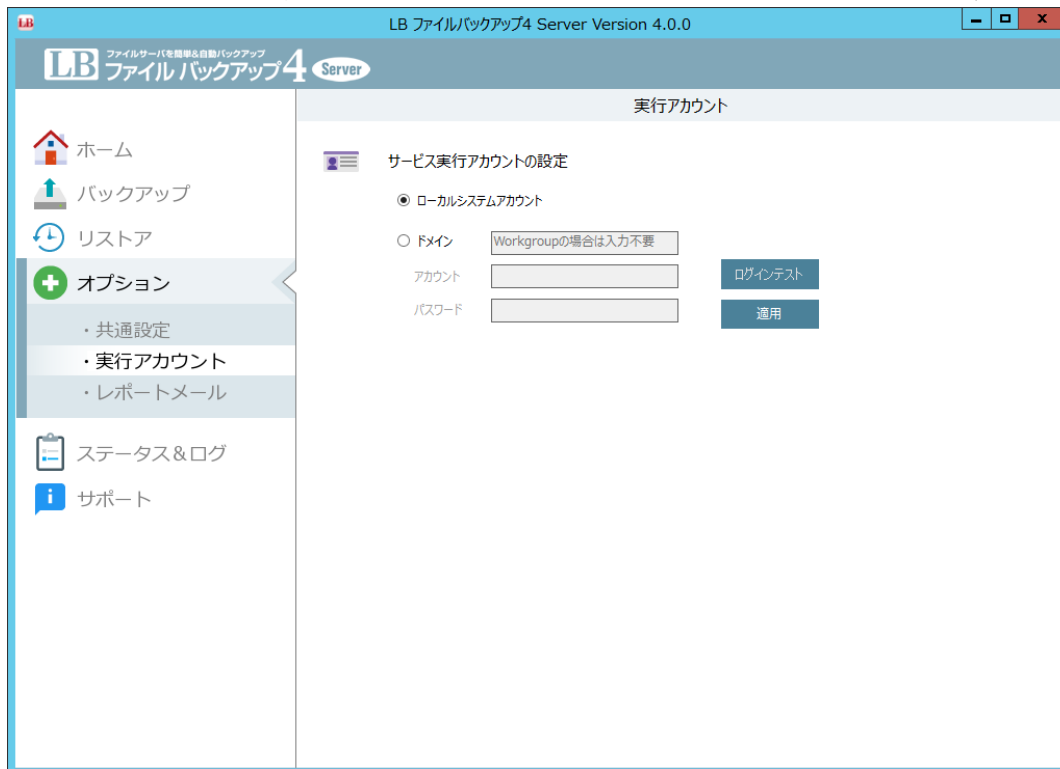
### ドライブレター変更オプション

「追従する」が有効になっていると、バックアップ先のドライブレターが変わった場合、LB ファイルバックアップ 4 Server 側の設定もそれに呼応して自動的に変更されます。フォルダ名を変えた場合は自動的に変更されないため、バックアップ設定を作り直す必要があります。

※ バックアップ元のドライブレターが変わった場合は、自動で変更されません。再度バックアップ設定を行う必要があります。

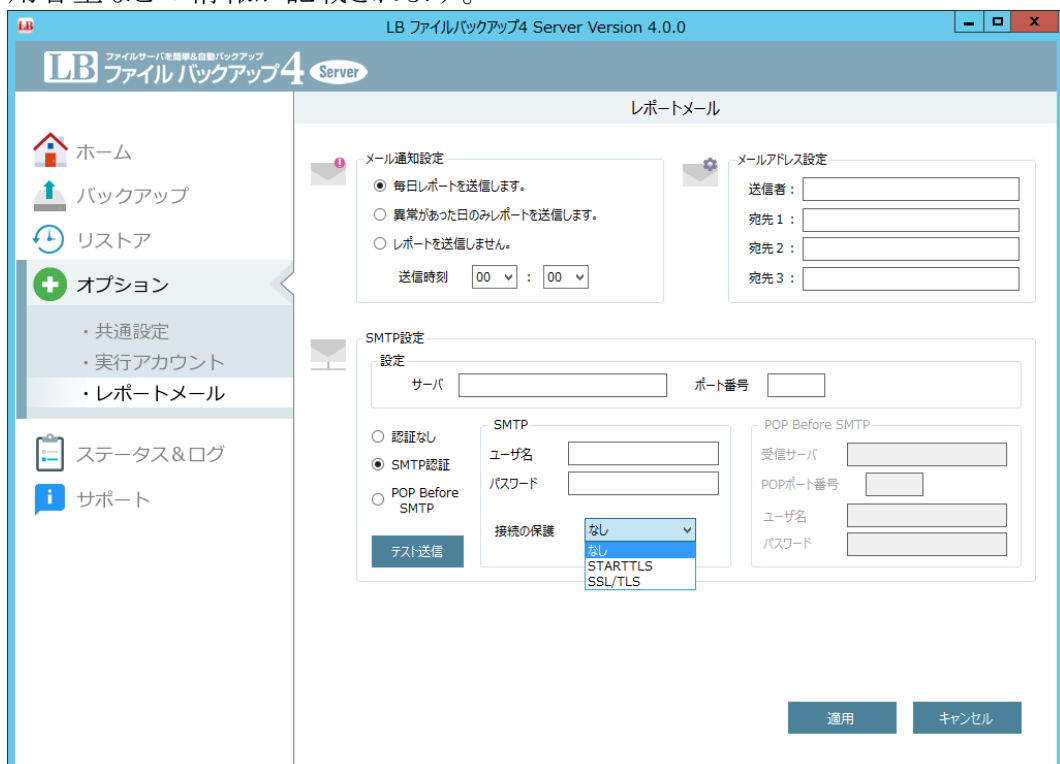
## (2) 実行アカウント

バックアップ先がローカルドライブか、ネットワークドライブかによって、選択する項目が異なります。ローカルドライブなら「ローカルシステムアカウント」を選択します。ネットワークドライブなら「ドメイン」を選択し、ドメイン名(必要な場合のみ)、アカウント、パスワードを入力します。アカウント・パスワードには、バックアップ先にアクセス可能なアカウントとそのパスワードを入力してください。入力後、ログインテストを行い、テストに成功してから適用をクリックすると設定が有効になります。



## (3) メール送信設定

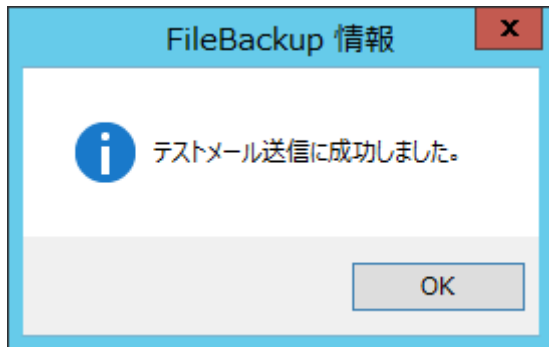
この画面では、LB ファイルバックアップ 4 Server のバックアップに関するレポートを、メールで送信するための設定が行えます。レポートには、バックアップの成否や、バックアップ先ドライブの使用容量などの情報が記載されます。



メール送信に必要な情報を入力後、「テスト送信」をクリックしてください。

テスト送信

成功すると以下のメッセージが表示されます。



### メール通知設定

レポートを送信するかどうかを設定します。レポートを送信する場合は、毎日送信するか異常があった日のみ送信するかを選択し、送信時刻を指定します。

### メールアドレス設定

送信者と宛先のメールアドレスをそれぞれ入力します。メール送信に必要な情報をすべて入力した後、「テスト送信」をクリックすると、テストメールを送信できます。送信に成功するとボタンが緑色に変わります。

### SMTP 設定

サーバ名、ポート番号を入力します。

### セキュリティと設定

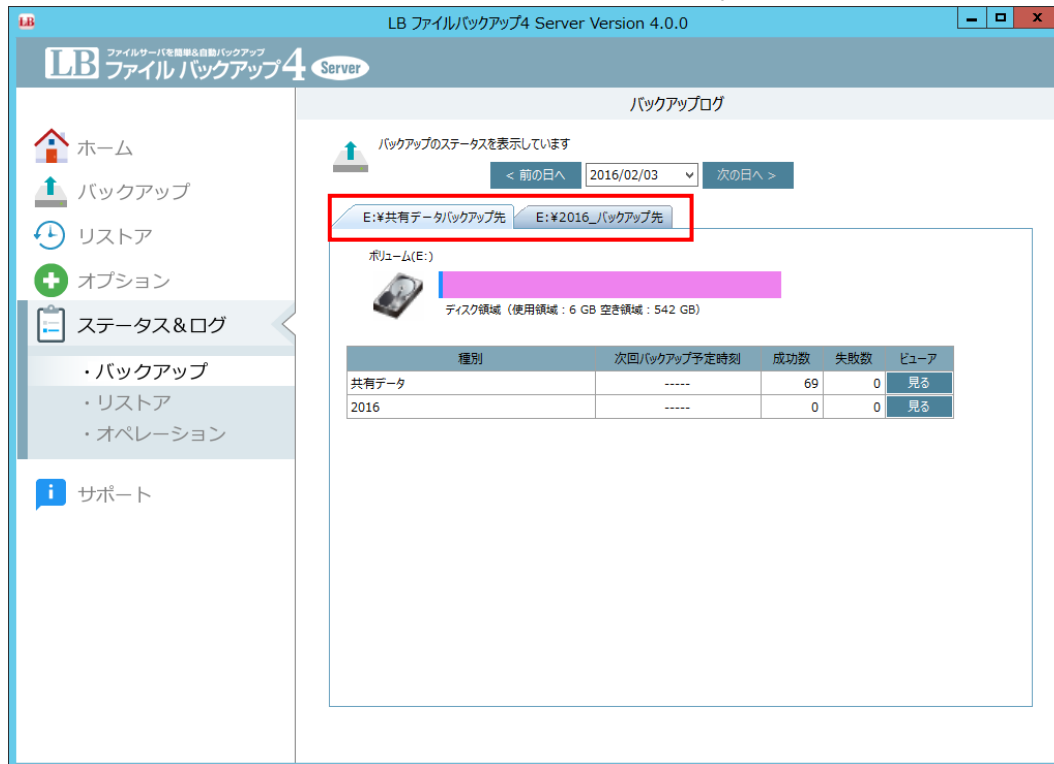
メール送信に必要なユーザ名、パスワードを入力します。保護された認証を使用する場合は、「保護された認証の使用」にチェックをいれ、該当のものをプルダウンから選択します。

## 6-2 ステータス&ログ画面について

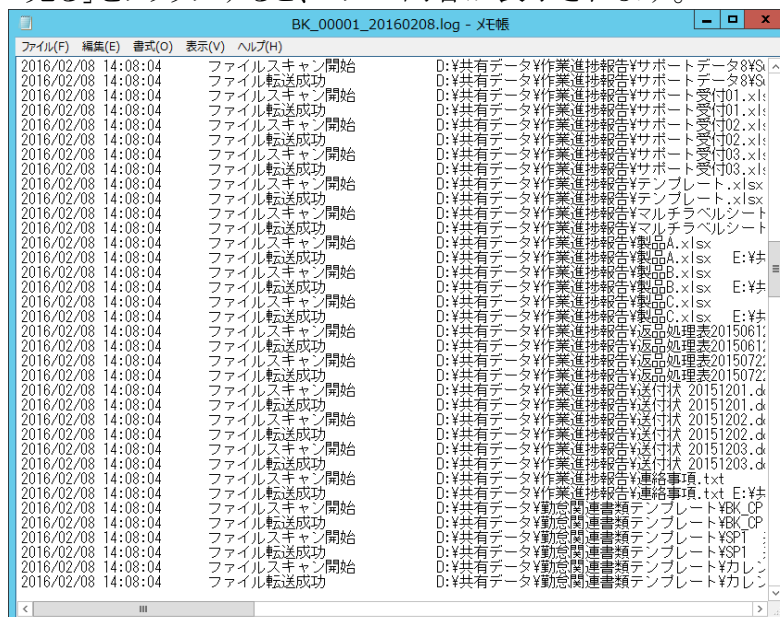
この画面では、設定したログの記録レベルに応じて、バックアップやリストア、オペレーションログを確認できます。ここでは、バックアップログを例に、ログの参照方法をご案内いたします。

※ ログの記録レベルが 0 の場合はログが記録されません。ログの記録レベルについては、『6-1 オプション画面について』を参照してください。

- (1) ホーム画面から、ステータス&ログ・バックアップをクリックします。
- (2) ログを参照したいバックアップ先のタブをクリックします。いつのログを表示するかを選択します。



- (3) 「見る」をクリックすると、ログの内容が表示されます。



リストアログも同じ手順で参照できます。なお、オペレーションログについては、日付やバックアップ先を選択する必要はなく、クリックするとログの内容が一覧表示されます。

### 6-3 サポート画面について

サポート画面では、LB ファイルバックアップ 4 Server のアクティベーション、ユーザ登録、お問合せなどが行えます。体験版を使用後、製品版に移行する場合は、ライセンスキーを購入し、アクティベーションを行う必要があります。



#### ライセンスキー入力

ライセンスキーを入力後、認証をクリックするとアクティベーションされます。アクティベーションについては『6-4』を参照してください。

#### お客様情報登録

ユーザ登録ページに移動します

#### サポートデータ作成

サポートセンターに送るログファイルを zip 形式で、任意の場所に保存します。クリックすると保存画面が表示されるので、保存先を選択してください。保存した zip ファイルをメールに添付して、弊社サポートセンターにご送付ください。

#### お問い合わせ

サポートセンターへの問合せページに移動します。

#### マニュアル

LB ファイルバックアップ 4 Server のマニュアル(PDF)を表示します。参照には Adobe Reader が必要です。

## 6-4 インストール後にライセンス認証を行う場合

ライセンスキーを入力せずに本製品をインストールした場合、30日間の無料評価版になります。インストール後にライセンス認証を行う場合は、『6-3』の画面でキーを入力したあと「**認証**」をクリックしてください。

ライセンスキー入力

LB ファイルバックアップ4 Server を製品版としてご利用になるには、  
ライセンスキーを入力してアクティベーションを行う必要があります。  
アクティベーションを行わなくてもインストールしてから30日間は、  
無料評価版としてご利用いただけます。

-  -  -  **認証**

インターネットに接続されていない場合は以下の画面が表示されます。サポートセンターにご連絡の上、オペレータに案内されたアクティベーションキーを入力してください。

電話によるライセンス登録

インターネットに接続ができませんでした。  
電話によるライセンス認証を行う場合は、  
ライセンスキーをご用意頂き、下記までご連絡を  
お願いいたします。

ライフポート サポートセンター 03-3265-1260  
受付時間 平日 10:00~12:00, 13:00~17:00

アクティベーションキー :

OK キャンセル

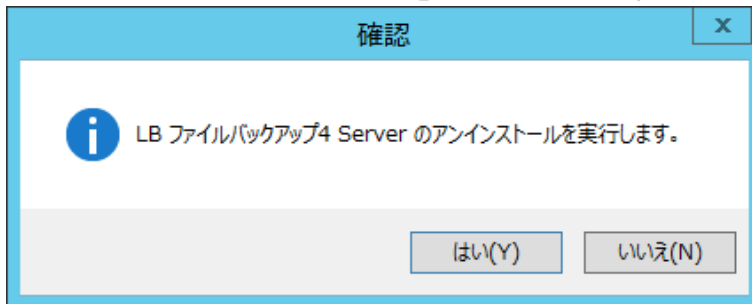
※ 評価期間終了後にアクティベーションを行わない場合、既にバックアップ済みのデータをリストアすることは可能ですが、バックアップ処理は実行されません。

## 6-5 アンインストール手順

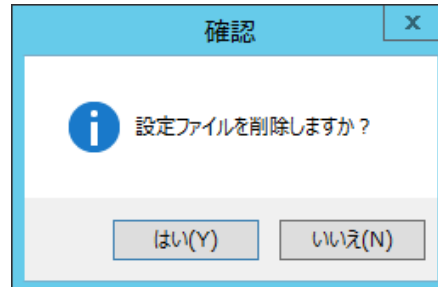
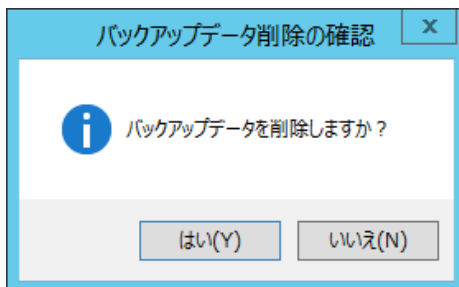
- (1) スタート→コントロールパネル→プログラム→プログラムのアンインストールをクリックします。プログラムと機能の画面で、「LB ファイルバックアップ 4 Server」を選択し、アンインストールをクリックします。
- (2) インストーラ画面が表示されたら「アンインストール」をクリックします。



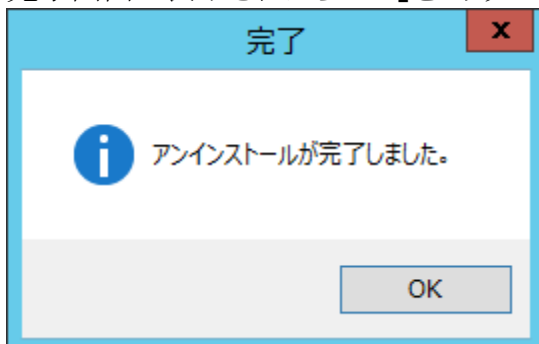
- (3) 確認画面が表示されたら「はい」をクリックします。



- (4) 必要に応じて、バックアップデータや設定を残すこともできます。



- (5) 完了画面が表示されたら「OK」をクリックします。



以上でアンインストールは完了です。

## 使用許諾契約書

当製品をご使用前に、下記のライセンス契約書を必ずお読みください。本使用許諾契約書(以下「本契約」といいます)は、下記に示されたライフポート ソフトウェア製品(以下「ソフトウェア製品」といいます)に関してお客様(以下「甲」といいます)と株式会社ライフポート(以下「乙」といいます)との間に締結される契約書です。ソフトウェア製品を開封、インストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約の条項に同意し、契約が成立したものとします。本契約の条項に同意されない場合、株式会社ライフポートは、お客様にソフトウェア製品のインストール、使用または複製のいずれも許諾できませんので、予めご了承ください。

### 第1条 定義

1. ソフトウェア製品  
本契約に基づき、乙が甲に提供するプログラムおよび関連資料を包括していい、改良版のソフトウェア製品が提供された場合には、当該改良版のソフトウェア製品をいう。
2. プログラム  
機械読取可能な形式で提供されるデータ処理プログラムをいう。
3. 関連資料  
プログラム以外の資料で、乙がプログラムの使用に関連して提供する、乙指定の資料をいう。

### 第2条 契約の目的

乙は甲に対しソフトウェア製品を非独占的に使用する譲渡不能な権利を許諾する。

### 第3条 契約期間

本契約は、本契約成立時から、甲または乙が本契約に従い解約するまで存続する。

### 第4条 使用权

1. 甲は、プログラムを1ライセンスにつき1台のコンピュータで使用することができる。また、印刷物の形で提供されたソフトウェア製品を本契約の目的に従って使用することができる。
2. 甲は、本契約に基づく使用权につき再使用权を設定し、またはソフトウェア製品もしくはその複製物を第三者に譲渡、転貸もしくは占有の移転をしてはならない。ただし、甲の管理の下で甲のためにソフトウェア製品を第三者に使用させる場合はこの限りでなく、甲の使用とみなすものとする。
3. 甲がマルチライセンスパックを購入した場合、本契約以外の書面(パッケージ等)において指定される許諾数だけのコンピュータにインストールできる。

### 第5条 複製権

甲は、ソフトウェア製品の一部または全部をバックアップコピー作成のためにのみ、複製及び複写することができる。甲は上記の目的以外のために、ソフトウェア製品の一部または全部を、メディアを問わず、転写、複製または複写してはならない。

### 第6条 危険負担

納入前に生じたソフトウェア製品および記録媒体の喪失または損傷は、甲の責に帰すべきものを除き乙の負担とし、納入以後に生じたこれらの損害は乙の責に帰すべきものを除き甲の負担とする。

### 第7条 保証

1. ソフトウェア製品の媒体及び関連資料に、物理的欠陥がある場合、甲がソフトウェア製品を購入してから90日間に限り、無償で乙より交換を受けることができる。
2. 乙は、ソフトウェア製品が甲の特定の使用目的に適合することを保証するものではない。また、前項において明示する場合を除き、本ソフトウェア及びサポートサービスに関して一切の保証を行わないものとする。
3. 前各項の定めは、本契約に基づく法律上の瑕疵担保責任を含む、乙の保証責任のすべてを指定したものとする。

### 第8条 乙の責任および責任の制限

1. プログラムの不稼働を含む稼働不良のすべての場合において、乙の責任は誤りの訂正に合理的努力を尽すことに限られるものとする。
2. 法律上の請求の原因の種類を問わず、乙は、法律上許容される最大限において、本ソフトウェア製品の使用もしくは使用不能、サポートサービスの提供もしくは提供不能またはその他本契約書に関して生じる特別損害、付随的損害、間接損害、派生的損害、またはその他の一切の



損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、事業の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、誠実義務または合理的な注意義務を含めた義務の不履行、過失、またはその他の金銭的損失を含むがこれらに限定されない）に関しては、乙の過誤、不法行為（過失を含む）、無過失責任、契約違反または保証違反の場合であっても、一切責任を負わないものとする。たとえ、乙がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様である。

3. 本ソフトウェア又はサポートサービスに起因して、甲、もしくはその他の第三者に生じた結果的損害、付随的損害及び逸失利益に関して、乙は一切の責任を負わないものとする。本契約のもとで、理由の如何を問わず、乙が甲、又はその他の第三者に対して負担する責任の総額は、損害の原因となった本ソフトウェアに対して本契約のもとで甲が実際に乙へ支払った対価の100%を上限とする。

#### 第9条 著作権等の侵害に関する損害賠償責任

1. ソフトウェア製品の使用が、第三者の著作権または工業所有権等の知的所有権を侵害したという理由で、甲が第三者より請求を受けた場合には、甲が次の各号所定のすべての要件を満たす場合には、乙の責任と費用負担で、当該請求を処理解決するものとし、甲に一切の損害を及ぼさないものとする。
  - (1) 甲が第三者から請求を受けた日から速やかに、乙に対し請求の事実および内容を通知すること。
  - (2) 甲が第三者との交渉または訴訟の遂行に関し、乙に実質的な参加の機会および決定の権限を与え、ならびに必要な援助をすること。
2. 乙は、甲が次の各号の一に該当する場合には、甲に対し前項所定の責任を負わない。
  - (1) 甲が乙提供以外のプログラムと組合わせて使用したことに起因するとき。

- (2) 甲が本契約に違反してソフトウェア製品を使用したことに起因するとき。

#### 第10条 ソフトウェア製品の変更または改作

甲は、自己の使用のため、必要な場合を除き「乙の許可なく」ソフトウェア製品を変更、または改作してはならない。

#### 第11条 解約および解除

1. 甲は、乙に30日前の書面による通知をして、任意に解約することができる。
2. 甲または乙は、相手方に次の各号に掲げる事由の一が生じたときには、なんらの催告なしに直ちに本契約を解除することができる。
  - (1) 支払いの停止または破産、和議開始、会社更正手続開始、会社整理開始もしくは特別清算開始の申立があったとき。
  - (2) 手形交換所の停止処分を受けたとき。
3. 甲または乙は、本契約に違反すること等相手方の債務不履行が相当期間を定めてした催告後も是正されないときは、本契約を解除することができる。
4. 前各項の適用によりソフトウェア製品の使用権が消滅した場合には、甲は返還または破棄の手続きを行うものとする。

#### 第12条 ソフトウェア製品の返還または破棄

1. 甲は、使用権の消滅後2週間以内にソフトウェア製品およびすべての複製物（変更または改作されたものを含む）を、乙に返還または破棄するものとする。
2. 甲は、前項による返還または破棄と同時に、前項所定の事実を証明する書類を乙に提出する。

#### 第13条 合意管轄

本契約に関し訴訟の必要が生じた場合には、乙本店所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

#### 第14条 協議

本契約に関して疑義が生じた場合には、両当事者は信義誠実の原則に従い協議するものとする。

**LB ファイルバックアップ 4 Server 利用ガイド**

---

2016 年 2 月 19 日

第 1 版 第 1 刷発行

(非売品)

著作 株式会社ライフポート  
発行所 株式会社ライフポート  
東京都千代田区神田神保町 2-2-34

©2016 株式会社ライフポート

---

Printed in Japan

落丁、乱丁はお取替えいたします。